## 令和3年度第1回いわてで働こう推進本部会議 次 第

日時:令和3年5月24日(月) 9:30~

場所:第一応接室

-4	胆	$\Delta$
	田田	_
_	ZT]	$\Delta$

### 2 報告事項

(1)	コロナ禍における一般職業紹介状況及び新規学卒者の職業紹介状況について・・・・・・資料	No. 1
(2)	「令和2年度いわてで働こう推進方針の取組状況」及び	
	「令和3年度いわてで働こう推進方針」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	No. 2
(3)	令和3年度いわてで働こう推進協議会における取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	∤No. 3
(4)	広域振興局管内の情勢について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	No. 4

- 3 その他
- 4 閉 会

# 令和3年度第1回いわてで働こう推進 本部会議説明資料

令和3年5月24日

岩手労働局

- 1. 雇用情勢について
  - (1) 一般職業紹介状況
  - (2) 令和3年3月新規大学等卒業予定者の就職内定状況
  - (3) 令和3年3月新規高等学校卒業予定者の就職内定状況
- 2. 新型コロナウイルス感染症に関する主な対応について
  - (1) 雇用調整助成金
  - (2) 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金



### **Press Release**

厚生労働省岩手労働局発表 令和3年4月30日(金)

報道関係者 各位

### 【照会先】

岩手労働局職業安定部職業安定課

 課
 長
 小野寺
 利一

 地方労働市場情報官
 千葉
 光利

 電
 話
 019 (604) 3004

### 令和3年3月分及び令和2年度分一般職業紹介状況

– 有効求人倍率は1.15倍、前月を0.03ポイント上回る。令和2年度平均の有効求人倍率は1.06倍 –

### 〇 岩手の有効求人倍率等の動向

- ① 3月の有効求人倍率(季節調整値)は 1.15 倍。 前月(1.12倍)を 0.03 ポイント上回る。
  - 有効求人数(季節調整値)は、24, 188 人、前月比 5.2%(1, 199人)増加。
  - ・ 有効求職者数(季節調整値)は、20,973人、前月比 1.8%(371人)増加。
- ② 3月の新規求人倍率(季節調整値)は 1.80 倍。 前月(1.72倍)を 0.08 ポイント上回る。
- ③ 令和2年度平均の有効求人倍率(原数値)は 1.06 倍。 前年度(1.33倍)を 0.27 ポイント下回る。

〈有効〉	今 月	前月	前月	引比	前年同	月比	令和2年度	令和元年度
			増減数	増減率	増減数	増減率	(原数値)	(原数値)
有効求人倍率	1.15倍	1.12倍	-	0.03P	-	▲ 0.05P	1.06倍	1.33倍
有効求人数	24,188	22,989	1,199	5.2%	<b>1</b> ,590	<b>▲</b> 6.2%	267,962	338,633
有効求職者数	20,973	20,602	371	1.8%	▲ 505	<b>▲</b> 2.4%	253,716	254,141

〈新規〉	今 月	前月	前月	月比	前年同	月比	令和2年度	令和元年度
			増減数	増減率	増減数	増減率	(原数値)	(原数値)
新規求人倍率	1.80倍	1.72倍	-	0.08P	l	0.04P	1.67倍	1.85倍
新規求人数	9,274	7,864	1,410	17.9%	275	3.1%	100,033	124,232
新規求職者数	5,149	4,581	568	12.4%	32	0.6%	60,028	67,006

#### (注) 1. 季節調整値による数値、比較である。

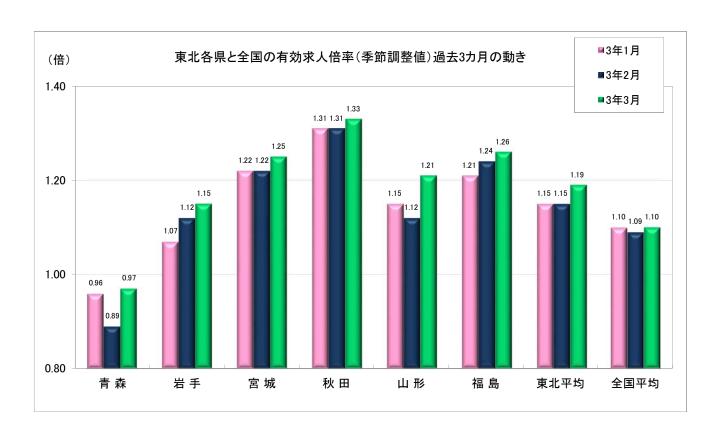
- 2. 季節調整法はセンサス局法 II(X-12-ARIMA)による。なお、令和2年1月から令和2年12月の数値が揃ったため、令和3年1月分公表時に令和2年までのデータにより再計算を行い、令和2年12月以前の数値を改訂した。
- 3. 数値は、全数(新規学卒者を除く)である。
- 4. 表中の「P」はポイント差を示す。

### Ⅰ-① 全国等の有効求人倍率(季節調整値)の動向

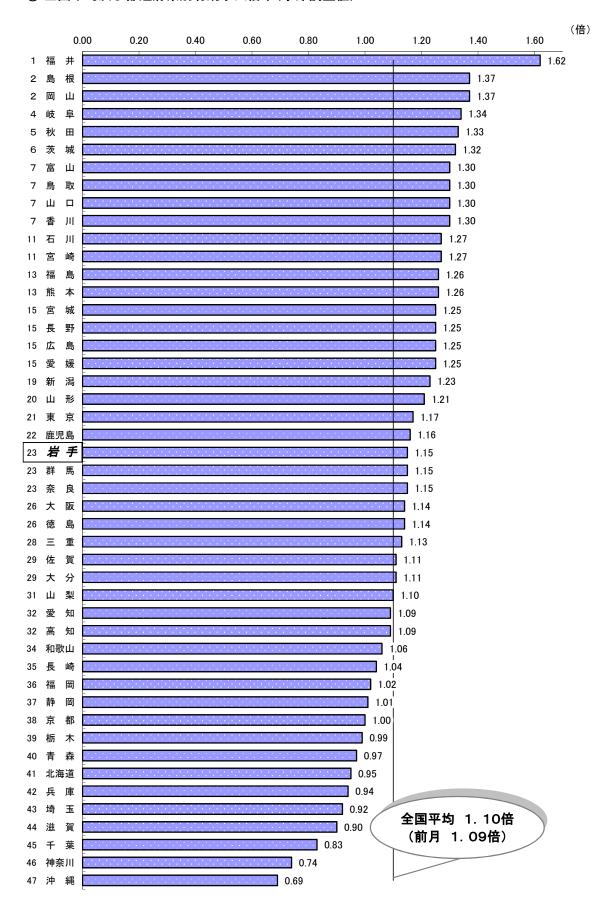
- ①全国の有効求人倍率は、1.10倍。前月(1.09倍)を0.01ポイント上回る。
- ②東北の有効求人倍率は、1.19倍。前月(1.15倍)を0.04ポイント上回る。

〈有効〉	今 月	前月	前年同月
全国平均	1. 10倍	1. 09倍	1. 40倍
東北平均	1. 19倍	1. 15倍	1. 29倍

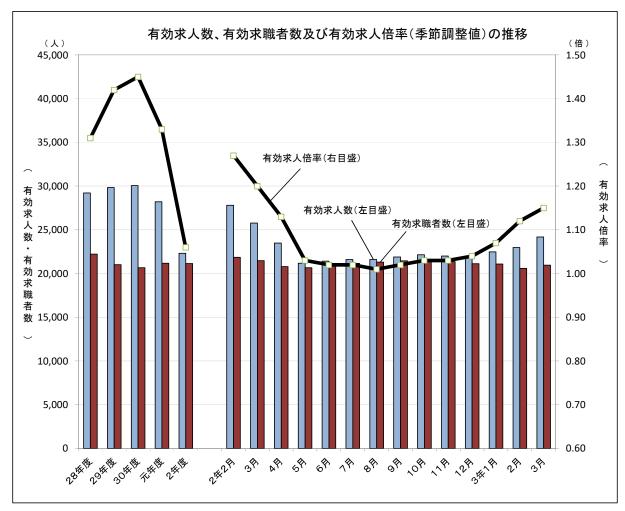
### Ⅰ-② 東北各県と全国の有効求人倍率の推移(過去3カ月)



### Ⅰ-③ 全国平均及び都道府県別有効求人倍率(季節調整値)



I 求人倍率 ①有効求人数、有効求職者数及び有効求人倍率(季節調整値)の推移



			(人•倍)
項目 年月	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
28年度(平均)	29,226	22,234	1.31
29年度(平均)	29,834	21,013	1.42
30年度(平均)	30,070	20,668	1.45
元年度(平均)	28,219	21,178	1.33
2年度(平均)	22,330	21,143	1.06
31年3月	29,592	20,563	1.44
2年2月	27,809	21,858	1.27
3月	25,778	21,478	1.20
4月	23,487	20,800	1.13
5月	21,192	20,672	1.03
6月	21,431	20,941	1.02
7月	21,608	21,169	1.02
8月	21,611	21,321	1.01
9月	21,902	21,459	1.02
10月	22,156	21,437	1.03
11月	22,004	21,372	1.03
12月	21,983	21,127	1.04
3年1月	22,487	21,096	1.07
2月	22,989	20,602	1.12

24,188

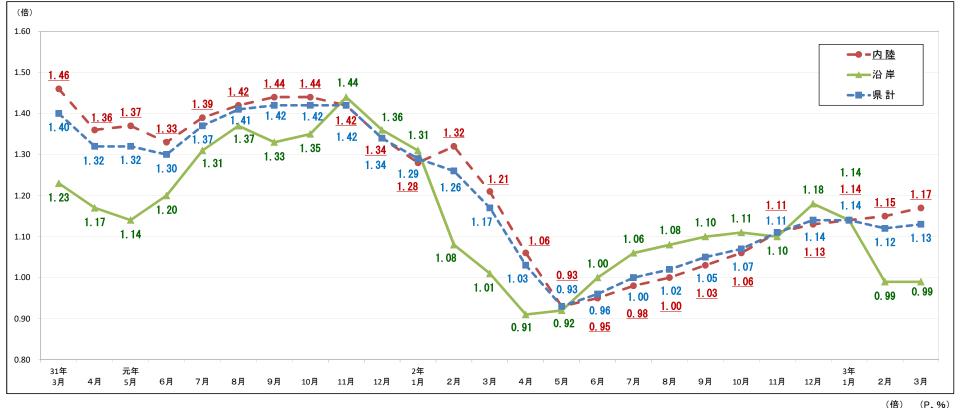
20,973

(注) 1. 数値は、全数(新規学卒者を除く)である。

3月

2. 年度計は原数値。

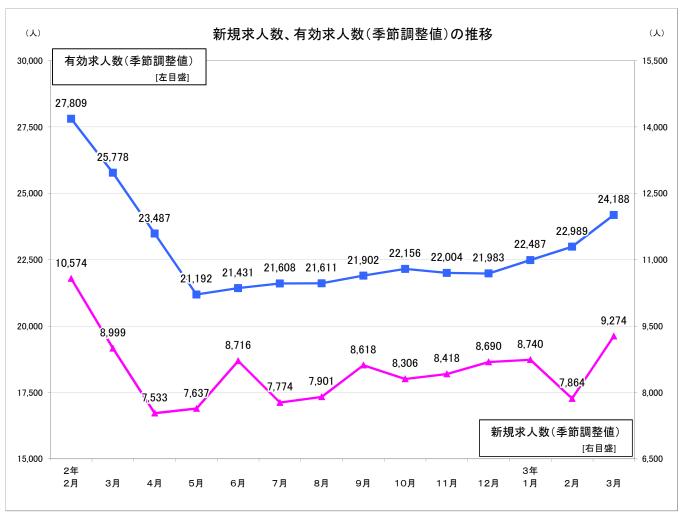
1.15



																									(1百)	(P, %)
	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月	前年同月 差(比)
釜 石	1.21	1.13	1.02	1.06	1.17	1.24	1.14	1.11	1.25	1.15	1.18	1.03	0.91	0.81	0.74	0.81	0.90	0.97	1.02	1.08	1.03	1.10	1.05	0.95	0.99	0.08
宮古	1.16	1.16	1.08	1.13	1.24	1.33	1.29	1.33	1.25	1.22	1.10	0.94	0.88	0.74	0.80	0.88	0.97	1.00	1.02	1.04	1.08	1.18	1.18	0.98	0.96	0.08
大船渡	1.35	1.35	1.47	1.54	1.60	1.62	1.56	1.54	1.73	1.54	1.68	1.35	1.24	1.17	1.18	1.24	1.21	1.19	1.18	1.17	1.14	1.27	1.26	1.12	1.05	▲ 0.19
久 慈	1.20	1.03	1.05	1.12	1.27	1.34	1.41	1.48	1.61	1.60	1.31	1.00	1.01	1.02	1.01	1.14	1.20	1.19	1.22	1.16	1.17	1.17	1.08	0.91	0.94	▲ 0.07
沿岸計	1.23	1.17	1.14	1.20	1.31	1.37	1.33	1.35	1.44	1.36	1.31	1.08	1.01	0.91	0.92	1.00	1.06	1.08	1.10	1.11	1.10	1.18	1.14	0.99	0.99	▲ 0.02
沿岸部 有効求人数	6,611	6,015	5,415	5,299	5,263	5,291	5,233	5,218	5,673	5,231	5,529	5,835	5,692	4,632	4,097	4,272	4,221	4,194	4,339	4,422	4,356	4,480	4,651	4,859	5,150	▲ 9.5
沿岸部 有効求職者数	5,380	5,157	4,744	4,431	4,026	3,851	3,920	3,867	3,950	3,858	4,207	5,413	5,662	5,084	4,474	4,271	4,000	3,889	3,949	3,997	3,964	3,803	4,067	4,908	5,217	<b>▲</b> 7.9
盛岡	1.38	1.28	1.34	1.26	1.31	1.34	1.36	1.38	1.30	1.25	1.24	1.23	1.17	1.02	0.87	0.87	0.91	0.91	0.94	0.96	0.99	0.99	1.01	1.02	1.03	▲ 0.14
花 巻	1.58	1.48	1.32	1.43	1.52	1.76	1.78	1.58	1.44	1.47	1.30	1.47	1.40	1.23	1.07	1.16	1.16	1.20	1.17	1.15	1.18	1.22	1.32	1.33	1.42	0.02
一 関	1.28	1.21	1.22	1.17	1.22	1.22	1.23	1.21	1.27	1.12	1.11	1.34	1.10	1.00	1.00	1.02	1.08	1.11	1.13	1.15	1.29	1.39	1.35	1.33	1.30	0.20
水 沢	1.62	1.51	1.44	1.45	1.46	1.49	1.52	1.41	1.49	1.43	1.45	1.38	1.22	0.99	0.86	0.90	0.97	1.00	1.02	1.02	1.07	1.13	1.14	1.25	1.31	0.09
北上	1.85	1.73	1.70	1.74	1.82	1.81	1.86	2.03	2.19	1.92	1.61	1.58	1.42	1.21	1.04	1.08	1.10	1.22	1.27	1.45	1.58	1.52	1.42	1.45	1.44	0.02
二戸	1.29	1.24	1.19	1.17	1.23	1.19	1.23	1.27	1.37	1.17	1.08	1.20	1.12	1.16	1.12	1.09	1.08	1.08	1.11	1.07	1.09	1.09	1.16	1.14	1.09	▲ 0.03
内陸計	1.46	1.36	1.37	1.33	1.39	1.42	1.44	1.44	1.42	1.34	1.28	1.32	1.21	1.06	0.93	0.95	0.98	1.00	1.03	1.06	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	▲ 0.04
内陸部 有効求人数	25,697	24,045	23,614	22,304	22,733	22,339	22,534	22,788	23,647	21,803	21,075	23,630	22,427	18,647	15,747	15,911	16,121	16,071	17,235	18,293	18,552	17,851	18,304	19,868	21,689	▲ 3.3
内陸部 有効求職者数	17,657	17,676	17,263	16,733	16,410	15,701	15,604	15,825	16,659	16,309	16,487	17,918	18,470	17,622	16,918	16,815	16,398	16,008	16,685	17,212	16,656	15,854	16,124	17,235	18,566	0.5
県 計	1.40	1.32	1.32	1.30	1.37	1.41	1.42	1.42	1.42	1.34	1.29	1.26	1.17	1.03	0.93	0.96	1.00	1.02	1.05	1.07	1.11	1.14	1.14	1.12	_1_13	0.04

(注) 沿岸部・内陸部の有効求人数・有効求職者数について、前年同月比がプラスだった場合赤色、マイナスだった場合青色、増減が無かった場合黄色に着色。

# Ⅱ 求人① 新規求人数、有効求人数等(季節調整値)の推移(主な産業の新規求人数(原数値)含む)



				(人・%)									(人・%)
項目	新規求	<b></b> 大数	有効求	<b></b> 大数	主な産業 (新規求人数)	建	投業	製油	告業	卸売業	、小売業	サート	
年月		前月比		前月比	年月		前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比
28年度	130,256	1.2	350,710	2.7	28年度	13,433	<b>▲</b> 1.6	15,702	5.1	21,339	4.8	16,732	▲ 0.4
29年度	132,121	1.4	358,009	2.1	29年度	14,469	7.7	16,063	2.3	20,806	▲ 2.5	18,635	11.4
30年度	131,678	▲ 0.3	360,844	0.8	30年度	13,913	▲ 3.8	15,488	▲ 3.6	20,209	▲ 2.9	17,006	▲ 8.7
元年度	124,232	▲ 5.7	338,633	▲ 6.2	元年度	13,503	▲ 2.9	12,648	▲ 18.3	17,694	▲ 12.4	14,443	▲ 15.1
2年度	100,033	▲ 19.5	267,962	▲ 20.9	2年度	12,976	▲ 3.9	10,376	▲ 18.0	14,145	▲ 20.1	12,707	▲ 12.0
31年3月	10,423	▲ 2.1	29,592	1.1	31年3月	1,097	▲ 14.2	1,231	▲ 18.1	1,685	▲ 2.5	1,312	▲ 19.6
2年2月	10,574	11.3	27,809	5.9	2年2月	995	▲ 20.4	897	▲ 20.1	1,031	<b>▲</b> 41.7	969	▲ 28.5
3月	8,999	▲ 14.9	25,778	<b>▲</b> 7.3	3月	1,187	8.2	934	▲ 24.1	1,367	▲ 18.9	936	▲ 28.7
4月	7,533	▲ 16.3	23,487	▲ 8.9	4月	955	▲ 21.3	923	▲ 19.2	907	<b>▲</b> 45.3	1,041	▲ 29.8
5月	7,637	1.4	21,192	▲ 9.8	5月	985	▲ 10.8	575	<b>▲</b> 46.5	950	<b>▲</b> 46.6	684	▲ 46.6
6月	8,716	14.1	21,431	1.1	6月	1,193	9.4	784	▲ 29.4	1,267	▲ 15.0	898	▲ 16.6
7月	7,774	▲ 10.8	21,608	0.8	7月	1,065	▲ 15.1	709	<b>▲</b> 42.0	1,091	▲ 32.4	1,071	▲ 27.1
8月	7,901	1.6	21,611	0.0	8月	936	▲ 20.5	583	<b>▲</b> 43.4	1,099	▲ 35.9	833	▲ 33.7
9月	8,618	9.1	21,902	1.3	9月	1,351	25.2	942	▲ 19.1	1,369	▲ 7.6	954	▲ 18.5
10月	8,306	▲ 3.6	22,156	1.2	10月	1,130	▲ 10.8	928	▲ 20.5	1,293	▲ 22.6	1,312	<b>▲</b> 6.3
11月	8,418	1.3	22,004	▲ 0.7	11月	921	▲ 10.7	797	▲ 20.5	1,164	<b>▲</b> 6.0	1,110	7.0
12月	8,690	3.2	21,983	▲ 0.1	12月	1,142	7.6	936	8.6	997	▲ 31.9	972	8.0
3年1月	8,740	0.6	22,487	2.3	3年1月	1,057	1.2	963	▲ 7.4	1,225	3.0	1,235	▲ 15.6
2月	7,864	▲ 10.0	22,989	2.2	2月	1,044	4.9	970	8.1	1,228	19.1	1,214	25.3
3月	9,274	17.9	24,188	5.2	3月	1,197	0.8	1,266	35.5	1,555	13.8	1,383	47.8

<sup>(</sup>注) 1. 数値は、全数(新規学卒者を除く)である。

<sup>2.</sup> 新規求人数、有効求人数の年度計及び産業別は原数値。

### Ⅱ-② 正社員有効求人倍率及び構成比の推移

年度•月別

年度•月別								
項目		有効求人	倍率(倍)			正社員構	成比(%)	
	(注)全体	うちェ	社員	全国の正社員	新規求人数Ⅰ	こ占める割合	就職件数に	占める割合
年月	(江) 主体		前年同月差	主国の正社員		前年同月差		前年同月差
元年度	1.33	0.86	▲ 0.05	1.12	39.5	▲ 0.5	33.9	▲ 3.7
2年度	1.06	0.73	▲ 0.13	0.83	42.1	2.6	36.3	2.4
31年3月	1.44	0.83	0.02	1.14	36.8	<b>▲</b> 1.0	28.0	<b>▲</b> 1.0
2年2月	1.27	0.79	▲ 0.10	1.08	32.0	▲ 5.7	31.6	▲ 8.7
3月	1.20	0.75	▲ 0.08	1.02	42.5	5.7	22.0	<b>▲</b> 6.0
4月	1.13	0.73	▲ 0.11	0.92	42.2	1.2	33.8	1.1
5月	1.03	0.70	▲ 0.16	0.84	47.2	6.6	39.3	1.8
6月	1.02	0.70	▲ 0.16	0.81	42.2	1.4	36.2	0.9
7月	1.02	0.70	▲ 0.19	0.79	41.5	0.1	39.2	▲ 1.0
8月	1.01	0.70	▲ 0.21	0.78	44.8	4.1	41.1	0.6
9月	1.02	0.71	▲ 0.21	0.78	43.3	1.0	39.3	0.7
10月	1.03	0.74	▲ 0.19	0.80	42.6	2.0	38.0	▲ 2.2
11月	1.03	0.78	▲ 0.09	0.83	41.1	8.1	39.3	1.4
12月	1.04	0.79	▲ 0.10	0.86	44.0	▲ 0.5	36.9	7.2
3年1月	1.07	0.78	▲ 0.08	0.87	41.4	3.3	39.5	6.2
2月	1.12	0.75	▲ 0.04	0.87	38.4	6.4	35.0	3.4
3月	1.15	0.74	▲ 0.01	0.85	39.4	▲ 3.1	28.2	6.2

<sup>(</sup>注) この表の「全体」の有効求人倍率(月別分)は、季節調整値。それ以外は原数値。

### 〇安定所別(令和3年3月)

### 〇産業別新規求人数に占める 正社員割合(令和3年3月)

項目				原数値				産業計(原数値)	00.4
	有效	功求人倍率(	倍)		正社員構成	成比(%)			39.4
		うちェ	社員	新規求人数(	こ占める割合	就職件数に	占める割合	D 建設業 	86.3
所別	全体		前年同月差		前年同月差		前年同月差	E 製造業	48.2
盛岡	1.03	0.60	▲ 0.06	36.4	▲ 2.0	26.5	5.9	H 運輸業、郵便業	66.7
釜石	0.99	0.65	0.01	33.7	▲ 6.4	15.9	<b>▲</b> 2.9	I 卸売業、小売業	00.7
宮古	0.96	0.89	0.10	45.7	▲ 0.1	23.9	<b>▲</b> 6.3	1 邱儿来、小儿来	22.4
花巻	1.42	0.75	▲ 0.07	27.2	<b>▲</b> 6.3	24.7	6.8	K 不動産業、物品賃貸業	60.9
一関	1.30	1.01	0.20	45.6	▲ 2.1	30.9	3.3	L 学術研究、 専門・技術サービス業	52.2
水沢	1.31	0.92	▲ 0.06	42.8	▲ 9.1	39.6	7.4	M 宿泊業、	02.2
北上	1.44	0.85	▲ 0.08	45.1	▲ 3.2	34.1	3.8	飲食サービス業	21.1
大船渡	1.05		0.00	44.1	▲ 3.6	30.7	16.0	N 生活関連サービス業、 娯楽業	38.9
二戸	1.09	0.90	0.13	51.4	5.9	23.9	3.8	O 教育、学習支援行	20.2
久慈	0.94	0.78	0.14	46.8	0.0	38.6	16.8	P 医療、福祉	20.2
内陸計	1.17	0.73	▲ 0.03	38.7	▲ 3.1	29.0	6.3	·	43.4
沿岸計	0.99	0.78	0.05	42.2	▲ 3.2	26.2	5.9	R サービス業 (他に分類されないもの)	24.9

<sup>(</sup>注) 正社員有効求人倍率=正社員有効求人数/常用フルタイム有効求職者数。

なお、常用フルタイム有効求職者には、フルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、 厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

### Ⅱ-③ 産業別、規模別新規求人状況(令和3年3月)(原数値)

A B 展 株 漁業(01~04)   261   154   107   241   108   105   33   132   18   20   18   20   18   20   20   18   20   20   20   20   20   20   20   2			新	規求人数(,	人)	前年同。	月新規求人	.数(人)	対前	<b></b> 「年同月比	(%)	対前年 同月差	対前々年 同月比(%)
			計	一般	パートタイム	計	一般	パートタイム	計	一般	パートタイム		計
D   超設業(の一の分)   1.197	Α.	B 農、林、漁業(01~04)	261	154	107	241	136	105	8.3	13.2	1.9	20	▲ 18.7
Figure 1	С	鉱業、砕石業、砂利採取業(05)	9	7	2	11	11	0	▲ 18.2	▲ 36.4		<b>▲</b> 2	28.6
E 製造業(のの32) 1,266 950 316 934 711 223 35.5 33.6 41.7 33.2 0 5 24.8 25.7 33.6 94 10 5 24.1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	D	建設業(06~08)	1,197	1,165	32	1,187	1,139	48	0.8	2.3	▲ 33.3	10	9.1
10   食料品製造業		(06 総合工事業)	755	731	24	802	775	27	▲ 5.9	▲ 5.7	▲ 11.1	<b>▲</b> 47	8.2
10 飲料・たば、飼料製造業 14 10 4 13 11 2 7.7 ▲ 8.1 100.0 1 1 11 2 7.7 ▲ 8.1 100.0 1 1 11 11 2 7.7 ▲ 8.1 100.0 1 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	Е	製造業(09~32)	1,266	950	316	934	711	223	35.5	33.6	41.7	332	2.8
11 株権工業 75 58 17 62 43 19 21.0 34.9 ▲ 10.5 13 12 大村・大製品製造業 41 24 17 34 29 5 20.6 本 17.2 240.0 7 11 14 パルプ・技・抵加工品製造業 77 6 11 13 13 13 0 ▲ 46.2 ▲ 53.8		09 食料品製造業	425	274	151	331	218	113	28.4	25.7	33.6	94	5.5
12 木材 木製品製造業 10 9 1 9 9 0 11.1 0.0 一 1 1 4 パルプ・紙・括加工品製造業 17 6 1 13 13 0 4 46.2 △ 53.8 一 ▲ 6 15 印刷・同附通業 17 14 3 20 18 2 △ 15.0 △ 22.2 50.0 ▲ 3 1 16 化学工業 49 40 9 25 18 7 96.0 12.22 28.6 24 17 石油製品・石炭製品製造業 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		10 飲料・たばこ・飼料製造業	14	10	4	13	11	2	7.7	<b>▲</b> 9.1	100.0	1	40.0
13 家具・養傷品製造業 7 6 1 13 13 13 0 ▲ 462 ▲ 538 -	1	11 繊維工業	75	58	17	62	43	19	21.0	34.9	▲ 10.5	13	▲ 33.0
14 バルブ紙・新加工品製造業 7 6 1 1 13 13 0 4 462 4 53.8 - 4 6 15 印刷・同関連業 17 14 3 20 18 2 4 150 4 22.2 50.0 4 3 16 化ビ工業 49 40 9 25 18 7 96.0 122.2 28.6 24 17 石油製品・石炭製品製造業 40 30 10 36 27 9 11.1 11.1 11.1 4 19 1 公製品製造業 5 5 5 0 3 3 3 0 66.7 66.7 - 2 2 1 窯業・土石製品製造業 43 30 13 42 41 1 2.4 26.8 1200.0 1 22 数銅業 11 11 0 8 8 0 37.5 37.5 - 3 3 3 0 66.7 66.7 - 2 2 1 窯業・土石製品製造業 15 13 2 2 1 1 650.0 120.0 100.0 103.2 24 金属製品製造業 75 71 4 69 65 4 8.7 9.2 0.0 6 6 2 1 4 57.1 4 56.5 4 100.0 4 36 22 2 1 1 1 650.0 120.0 100.0 13 2 4 金属製品製造業 77 77 0 63 62 1 4 57.1 4 56.5 4 100.0 4 36 26 生産用機械器具製造業 77 77 0 63 62 1 4 57.1 4 56.5 5 10.0 4 36 22 2 1 1 1 650.0 120.0 100.0 100.0 13 2 4 金属製品製造業 77 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 2 2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業 89 65 24 32 27 5 178.1 140.7 380.0 57 2 2 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 16 報送用機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 4 6.1 100.0 4 59.1 42 2 3 13 輸送用機械器具製造業 31 22 9 33 31 1 22 4 6.1 100.0 4 59.1 4 2 3 3 3 3 3 2 22.9 4 9.1 550.0 8 3 3 1 3 3 3 3 3 2 22.9 4 9.1 550.0 8 3 3 1 3 3 3 3 3 3 2 22.9 4 9.1 550.0 8 3 3 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		12 木材・木製品製造業	41	24	17	34	29	5	20.6	<b>▲</b> 17.2	240.0	7	5.1
15 印刷 同関連業 17 14 3 20 18 2 ▲15.0 ▲22.2 50.0 ▲3 16 化学工業 49 40 9 25 18 7 96.0 122.2 28.6 24 17 石油製品・石炭製品製造業 40 30 10 36 27 9 11.1 11.1 11.1 11.1 4 11.1 11.1 11.1		13 家具•装備品製造業	10	9	1	9	9	0	11.1	0.0		1	<b>▲</b> 16.7
16 化学工業	1	14 パルプ・紙・紙加工品製造業	7	6	1	13	13	0	<b>▲</b> 46.2	▲ 53.8		<b>▲</b> 6	40.0
17 石油製品・石炭製品製造業 40 30 10 36 27 9 11.1 11.1 11.1 4 19 14.2 4 26.8 120.0 1 1 1 11.1 11.1 4 4 19 14.2 4 26.8 120.0 1 2 2 2 3 4 3 30 13 42 41 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 2 3 4 3 30 13 42 41 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 2 3 4 3 4 3 30 13 42 41 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 2 3 4 3 4 3 30 13 42 41 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 2 3 4 3 4 3 30 13 42 41 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 2 3 4 3 4 3 30 13 42 4 4 1 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 2 3 4 3 4 3 30 13 42 4 4 1 1 2.4 4 26.8 120.0 1 2 3 4 3 4 3 4 3 30 1 3 4 2 4 4 1 1 2.4 4 2 6 8 12 3 5 5 6 3 4 3 5 6 5 6 5 4 8 7 9 2 0 0 6 6 6 5 4 8 7 9 2 0 0 0 6 6 6 5 6 6 5 4 8 7 9 2 0 0 0 6 6 6 5 6 6 6 5 6 6 6 6 7 9 2 6 6 6 6 6 6 6 7 2 2 7 8 8 8 8 6 6 5 2 4 32 2 7 5 178.1 140.7 380.0 57 2 3 18 8 5 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		15 印刷•同関連業	17	14	3	20	18	2	▲ 15.0	▲ 22.2	50.0	▲ 3	▲ 37.0
18 プラステック製品製造業 40 30 10 36 27 9 11.1 11.1 11.1 4 19 ゴム製品製造業 5 5 0 3 3 3 0 667 667 - 2 2 1 2 2 1 1 2 4 2 68 1200.0 1 2 2 5 2 4 1 1 650.0 1200.0 100.0 13 2 4 金属製造業 11 11 11 0 8 8 8 0 37.5 37.5 - 3 23 非鉄金属製造業 115 13 2 2 2 1 1 1 650.0 1200.0 100.0 13 2 4 金属製品製造業 75 71 4 69 65 4 8 87 9.2 0.0 6 2 5 15 kAnH機械器具製造業 77 71 4 69 65 4 8 87 9.2 0.0 6 2 5 15 kAnH機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 2 7 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 2 8 電子部品一ディバス・電子回路製造業 99 65 24 32 27 5 178.1 1 414.7 380.0 57 29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 13 36 3 11 1 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 3 3 3 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 3 3 3 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 3 3 3 3 3 2 2 2 9 3 3 3 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 3 3 3 3 3 2 2 2 9 4 ♠ 9.1 550.0 8 3 3 3 3 2 2 2 9 ♠ 9.1 550.0 8 3 3 3 3 2 2 2 9 ♠ 9.1 550.0 8 3 3 3 3 2 2 2 9 ♠ 9.1 550.0 8 3 3 3 3 3 2 2 2 9 ♠ 9.1 550.0 8 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1	16 化学工業	49	40	9	25	18	7	96.0	122.2	28.6	24	53.1
19 ゴム製品製造業 5 5 5 0 3 3 3 0 66.7 66.7 - 2 2 1 窯業・土石製品製造業 43 30 13 42 41 1 2.4 ▲ 26.8 1200.0 1 22 鉄鋼業 11 11 11 0 8 8 8 0 37.5 37.5 - 3 3 22 3 非鉄金属製造業 15 13 2 2 2 1 1 1 650.0 1200.0 100.0 13 24 金属製品製造業 75 71 4 69 65 4 8.7 9.2 0.0 6 25 はん用機械器具製造業 27 27 0 63 62 1 ▲ 57.1 ▲ 56.5 ▲ 100.0 ▲ 36 26 生産用機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 39.0 27.3 42 28 電子部品・デンイス・電子回路製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 39.0 27.3 42 28 電子部品・デンイス・電子回路製造業 89 65 24 32 27 5 178.1 140.7 380.0 57 29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 16 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 31 3 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 ▲ 6.2 1 1 (31.3 船舶製造・修理業、舶用機関製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 0 50.0 50.0 - 1 1 20.32 その他の製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 0 50.0 50.0 - 1 1 20.32 その他の製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 0 50.0 50.0 1 6.0 3 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	1	17 石油製品•石炭製品製造業	0	0	0	0	0	0				0	▲ 100.0
21 需案・土石製品製造業 43 30 13 42 41 1 2.4 ▲ 26.8 120.0 1 22 鉄鋼業 11 11 0 8 8 8 0 37.5 37.5 — 3 3 23 非鉄金属製造業 75 71 4 69 65 4 8.7 9.2 0.0 6 6 25 はん用機械器具製造業 77 71 4 69 65 4 8.7 9.2 0.0 6 6 25 はん用機械器具製造業 77 27 0 63 62 1 ▲ 57.1 ▲ 56.5 ▲ 100.0 ▲ 36 2 2 乗務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子制機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造 修理業、舶用機関製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ★66.7 2 15 年底・ガス・熱供給・水道業(33~36) 32 16 16 29 19 10 10.3 ▲ 15.8 60.0 3 G 情報通信業(37~41) 93 80 13 59 53 6 57.6 59.9 116.7 34 (39 情報サービス業) 75 65 10 44 41 3 70.5 58.5 233.3 31 日 28 28 (37-41) 93 36 13 59 53 6 57.6 59.9 116.7 34 (39 情報サービス業) 43 36 86 512 418 94 ▲ 15.6 ▲ 17.2 ▲ 8.5 ▲ 80 11 分元業、小売業(50~61) 1.555 456 1.099 1.367 488 879 13.8 ▲ 6.6 250 188 (50~65 向 i) 小売業、小売業(50~61) 1.555 456 1.099 1.367 488 879 13.8 ▲ 6.6 250 188 (50~65 向 i) 小売業) 1.275 301 974 1.165 364 801 9.4 ▲ 17.0 2.6 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 公司、大房工業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 公司、大房工業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 公司、大房工業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 公司、大房工業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 公司、大房工業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 公司、大房工業、保険業(62~67) 60 81 19 74 65 11 80 41 11 80.3 43.3 281.8 57 15 15 20 20 50 50 64 ▲ 6.2 12.9 49 10 60 50 50 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60	1	18 プラスチック製品製造業	40	30	10	36	27	9	11.1	11.1	11.1	4	▲ 28.6
22 鼓鋼楽 11 11 11 0 8 8 8 0 37.5 37.5 - 3 1 22 非狭金属製造業 15 13 2 2 1 1 1 650.0 1200.0 100.0 13 2 4 金属製品製造業 75 77 4 69 65 4 8.7 9.2 0.0 6 6 25 1 ★ 57.1 ★ 56.5 ★ 100.0 ★ 36 25 1 ★ 57.1 ★ 56.5 ★ 100.0 ★ 36 26 生産用機械器具製造業 27 27 0 63 62 1 ★ 57.1 ★ 56.5 ★ 100.0 ★ 36 26 生産用機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ★ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 12 2 2.9 ★ 6.1 100.0 ★ 59.1 ★ 2 31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ★ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 2 22.9 ★ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・作業・ 1.5 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ★ 66.7 2 2 1.5 (3.7 - 2.7	1	19 ゴム製品製造業	5	5	0	3	3	0	66.7	66.7		2	66.7
22 非鉄金属製造業 75 71 4 69 65 4 8.7 92 0.0 6 6 25 は人用機械器具製造業 75 71 4 69 65 4 8.7 92 0.0 6 6 25 は人用機械器具製造業 27 27 0 63 62 1 ▲ 57.1 ▲ 56.5 ▲ 100.0 ▲ 36 2 6 生産用機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 89 65 24 32 27 5 178.1 140.7 380.0 57 29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 12 2.0 € 6.6 1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 输送上機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業・舶用機関製造業 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 3 3 3 3 3 2 2 2 2 9 ▲ 9.1 550.0 8 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		21 窯業·土石製品製造業	43	30	13	42	41	1	2.4	▲ 26.8	1200.0	1	<b>▲</b> 15.7
24 金属製品製造業 75 71 4 69 65 4 8.7 9.2 0.0 6 25 はん用機械器具製造業 27 27 0 63 62 1 ▲ 57.1 ▲ 56.5 ▲ 100.0 ▲ 36 26 生産用機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 89 65 24 32 27 5 178.1 140.7 380.0 57 29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業 48 30 13 35 33 12 2 ♣ 6.1 100.0 ★ 59.1 ▲ 2 3 3 11 22 ♠ 6.1 100.0 ★ 59.1 ▲ 2 2 2 0 50.0 50.0 — 1 2 2 2 5 0 50.0 50.0 — 1 2 2 2 5 0 50.0 50.0 50.0 — 1 2 2 2 5 0 50.0 50.0 50.0 — 1 2 2 2 5 0 50.0 50.0 50.0 50.0 — 1 2 2 2 5 0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	1	22 鉄鋼業	11	11	0	8	8	0	37.5	37.5		3	▲ 64.5
25 はん用機械器具製造業 27 27 0 63 62 1 ▲ 57.1 ▲ 56.5 ▲ 100.0 ▲ 38 26 生産用機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子部品・デバイズ・電子回路製造業 89 65 24 32 27 5 178.1 140.7 380.0 57 29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 1 195.1 233.3 99.9 80 30 情報通信機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 3 1 3 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 1 3 1 3 5 3 3 2 2 2 3 4 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		23 非鉄金属製造業	15	13	2	2	1	1	650.0	1200.0	100.0	13	200.0
26 生産用機械器具製造業 47 46 1 25 24 1 88.0 91.7 0.0 22 27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200.0 390.0 27.3 42 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 信報通信機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車「同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 ┺ 3 20.32 その他の製造業 15 13 2 13 7 6 154.8 85.7 ▲ 66.7 2 目 電気・ガス・熱供給・水道業(33~36) 32 16 16 29 19 10 10.3 ▲ 15.8 60.0 3 G 情報通信業(37~41) 93 80 13 59 53 6 57.6 50.9 116.7 34 (39 情報サービス業) 75 65 10 44 41 3 70.5 58.5 233.3 31 (50~55 卸売業) 280 155 125 202 124 78 38.6 25.0 60.3 78 (56~61 ) 小売業) 1.275 301 974 1.165 364 801 9.4 ▲ 17.3 2.16 110 J 金融業、外品賃貸業(68~70) 128 86 42 71 60 11 80.9 4 ▲ 17.3 2.16 110 J 金融業、外品賃貸業(68~70) 128 86 42 71 60 11 80.9 4 ▲ 17.3 2.16 110 J 金融業、外品賃貸業(68~70) 128 86 42 71 60 11 80.3 43.3 281.8 57 L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 信泊業、飲食サービス業(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 信泊業、飲食サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 生活関連サービス業、(71~74) 114 62 0 教育、学習支援業(71~74) 48 81 87 98 62 223 4 21.4 8.1 4 3.2.7 66 D 教育、学習支援業(71~74) 48 81 87 98 62 223 4 21.4 8.1 4 3.2.7 66 D 教育、学習支援業(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・財産サービス業、(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・サービス業、(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・大阪食・サービス業、(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・サービス業、(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・大阪食・サービス業・(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・(71~74) 48 81 87 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 管泊業・(71~74) 48 81 87 98 87 98 87 98 87 98 87 98 87 98 88 88 88 88 88 98 98 88 88 88 98 98		24 金属製品製造業	75	71	4	69	65	4	8.7	9.2	0.0	6	0.0
27 業務用機械器具製造業 63 49 14 21 10 11 200. 390.0 27.3 42 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 89 65 24 32 27 5 178.1 140.7 380.0 57 29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業・舶用機関製造業 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0		25 はん用機械器具製造業	27	27	0	63	62	1	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 100.0	▲ 36	▲ 20.6
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業 3 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 — 1 1 20.32 その他の製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 1	1	26 生産用機械器具製造業	47	46	1	25	24	1	88.0	91.7	0.0	22	30.6
29 電気機械器具製造業 121 100 21 41 30 11 195.1 233.3 90.9 80 30 情報通信機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 — 1 2 2 0 50.0 50.0 — 1 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 2 1 3 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 1 3 7 8 1 4 1 3 7 7 6 1 1 4 1 3 7 7 6 1 1 5 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		27 業務用機械器具製造業	63	49	14	21	10	11	200.0	390.0	27.3	42	<b>▲</b> 11.3
30 情報通信機械器具製造業 31 22 9 33 11 22 ▲ 6.1 100.0 ▲ 59.1 ▲ 2 31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 33.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 1 2 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50		28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	89	65	24	32	27	5	178.1	140.7	380.0	57	39.1
31 輸送用機械器具製造業 46 33 13 39 36 3 17.9 ▲ 8.3 333.3 7 (311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 (313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業) 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 2 0 50.0 50.0 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		29 電気機械器具製造業	121	100	21	41	30	11	195.1	233.3	90.9	80	59.2
(311 自動車・同附属品製造業) 43 30 13 35 33 2 22.9 ▲ 9.1 550.0 8 20.32 その他の製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2 1		30 情報通信機械器具製造業	31	22	9	33	11	22	<b>▲</b> 6.1	100.0	▲ 59.1	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 41.5
(313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業 3 3 0 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 - 1 2 2 2 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.		31 輸送用機械器具製造業	46	33	13	39	36	3	17.9	▲ 8.3	333.3	7	142.1
20.32 その他の製造業 15 13 2 13 7 6 15.4 85.7 ▲ 66.7 2  F 電気・ガス・熱供給・水道業(33~36) 32 16 16 29 19 10 10.3 ▲ 15.8 60.0 3 G 情報通信業(37~41) 93 80 13 59 53 6 57.6 50.9 116.7 34 (39 情報サービス業) 75 65 10 44 41 3 70.5 58.5 233.3 31 H 運輸業、郵便業(42~49) 432 346 86 512 418 94 ▲ 15.6 ▲ 17.2 ▲ 8.5 ▲ 80 I 卸売業、小売業(50~61) 1.555 456 1.099 1.367 488 879 13.8 ▲ 6.6 25.0 188 (50~55 卸売業) 280 155 125 202 124 78 38.6 25.0 60.3 78 (56~61 小売業) 1.275 301 974 1.165 364 801 9.4 ▲ 17.3 21.6 110 J 金融業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 K 不動産業、物品賃貸業(68~70) 128 86 42 71 60 11 80.3 43.3 281.8 57 L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) 809 242 567 760 258 502 6.4 ▲ 6.2 12.9 49 (76 飲食店) N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) 303 156 147 365 199 166 ▲ 17.0 ▲ 21.6 ▲ 11.4 ▲ 62 O 教育、学習支援業(81,82) 243 93 150 309 86 223 ▲ 21.4 8.1 ▲ 32.7 ▲ 66 P 医療、福祉(83~85) 1.968 1.237 731 1.965 1.261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3		(311 自動車・同附属品製造業)	43	30	13	35	33	2	22.9	<b>▲</b> 9.1	550.0	8	186.7
F 電気・ガス・熱供給・水道業(33~36) 32 16 16 29 19 10 10.3 ▲ 15.8 60.0 3 (1 情報通信業(37~41) 93 80 13 59 53 6 57.6 50.9 116.7 34 (39 情報サービス業) 75 65 10 44 41 3 70.5 58.5 233.3 31 日 運輸業、郵便業(42~49) 432 346 86 512 418 94 ▲ 15.6 ▲ 17.2 ▲ 8.5 ▲ 80 I 卸売業、小売業(50~61) 1,555 456 1,099 1,367 488 879 13.8 ▲ 6.6 25.0 188 (50~55 卸売業) 280 155 125 202 124 78 38.6 25.0 60.3 78 (56~61 小売業) 1,275 301 974 1,165 364 801 9.4 ▲ 17.3 21.6 110 J 金融業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 K 不動産業、物品賃貸業(68~70) 128 86 42 71 60 11 80.3 43.3 281.8 57 L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) 809 242 567 760 258 502 6.4 ▲ 6.2 12.9 49 (76 飲食店) 608 169 439 548 185 363 10.9 ▲ 8.6 20.9 60 N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) 303 156 147 365 199 166 ▲ 17.0 ▲ 21.6 ▲ 11.4 ▲ 62 O 教育、学習支援業(81、82) 243 93 150 309 86 223 ▲ 21.4 8.1 ▲ 32.7 ▲ 66 P 医療、福祉(83~85) 1.968 1.237 731 1.965 1.261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3		(313 船舶製造・修理業、舶用機関製造業)	3	3	0	2	2	0	50.0	50.0		1	
G 情報通信業(37~41) (39 情報サービス業) 75 65 10 44 41 3 70.5 58.5 233.3 31 H 運輸業、郵便業(42~49) 432 346 86 512 418 94 ▲ 15.6 ▲ 17.2 ▲ 8.5 ▲ 80 I 卸売業、小売業(50~61) (50~55 卸売業) (56~61 小売業) 1,275 301 974 1,165 364 801 9.4 ▲ 17.3 21.6 110 J 金融業、保険業(62~67) K 不動産業、物品賃貸業(68~70) L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74) M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) (76 飲食店) N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) P 医療、福祉(83~85) 1,968 1,237 731 1,965 1,261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8	L	20,32 その他の製造業					-		15.4		▲ 66.7	2	
(39 情報サービス業) 75 65 10 44 41 3 70.5 58.5 233.3 31 日 2 2	F	電気・ガス・熱供給・水道業(33~36)											28.0
H 運輸業、郵便業(42~49) I 卸売業、小売業(50~61) (50~55 卸売業) (56~61 小売業) I 金融業、保険業(62~67) K 不動産業、物品賃貸業(68~70) L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74) M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) (76 飲食店) N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) O 教育、学習支援業(81、82) P 医療、福祉(83~85)  432  434  435  445  1,099  1,367  488  879  1,367  488  879  13.8  ▲ 6.6  25.0  60.3  78  125  202  124  78  38.6  25.0  60.3  78  110  188  480  19.4  ▲ 17.3  21.6  110  489  432  432  433  47  47  48  801  9.4  ▲ 17.3  21.6  110  489  432  433  433  281.8  57  57  56.5  15  M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) (76 飲食店)  N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) O 教育、学習支援業(81、82) P 医療、福祉(83~85)  1,968  1,237  731  1,965  1,261  704  0.2  ▲ 15.6  ▲ 17.2  ▲ 8.5  ▲ 8.5  ▲ 8.0  4 17.2  ▲ 8.5  ▲ 8.5  ▲ 8.0  4 17.2  ▲ 8.5  ▲ 8.0  4 17.2  ▲ 8.5  ▲ 8.5  ▲ 8.6  4 2.5  6 0.3  7 8  6 0.3  7 1.0  6 0.3  8 0.1  8 0	G												▲ 8.8
I 卸売業、小売業(50~61) 1,555 456 1,099 1,367 488 879 13.8 ▲ 6.6 25.0 60.3 78 (50~55 卸売業) 280 155 125 202 124 78 38.6 25.0 60.3 78 (56~61 小売業) 1,275 301 974 1,165 364 801 9.4 ▲ 17.3 21.6 110 J 金融業、保険業(62~67) 63 55 8 73 47 26 ▲ 13.7 17.0 ▲ 69.2 ▲ 10 K 不動産業、物品賃貸業(68~70) 128 86 42 71 60 11 80.3 43.3 281.8 57 上 学術研究、専門・技術サービス業(71~74) 113 77 36 98 75 23 15.3 2.7 56.5 15 M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) 809 242 567 760 258 502 6.4 ▲ 6.2 12.9 49 (76 飲食店) 608 169 439 548 185 363 10.9 ▲ 8.6 20.9 60 N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) 303 156 147 365 199 166 ▲ 17.0 ▲ 21.6 ▲ 11.4 ▲ 62 0 教育、学習支援業(81、82) 243 93 150 309 86 223 ▲ 21.4 8.1 ▲ 32.7 ▲ 66 P 医療、福祉(83~85) 1,968 1,237 731 1,965 1,261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3	1												▲ 20.2
(50~55 卸売業) (56~61 小売業) 1,275 301 974 1,165 364 801 9.4 ▲ 17.3 21.6 110													
(56~61 小売業) 1,275 301 974 1,165 364 801 9.4 ▲ 17.3 21.6 110	I					,							<b>▲</b> 7.7
J 金融業、保険業(62~67)     63     55     8     73     47     26     ▲ 13.7     17.0     ▲ 69.2     ▲ 10       K 不動産業、物品賃貸業(68~70)     128     86     42     71     60     11     80.3     43.3     281.8     57       L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74)     113     77     36     98     75     23     15.3     2.7     56.5     15       M 宿泊業、飲食サービス業(75~77)     809     242     567     760     258     502     6.4     ▲ 6.2     12.9     49       (76     飲食店)     608     169     439     548     185     363     10.9     ▲ 8.6     20.9     60       N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80)     303     156     147     365     199     166     ▲ 17.0     ▲ 21.6     ▲ 11.4     ▲ 62       O 教育、学習支援業(81、82)     243     93     150     309     86     223     ▲ 21.4     8.1     ▲ 32.7     ▲ 66       P 医療、福祉(83~85)     1.968     1.237     731     1.965     1.261     704     0.2     ▲ 1.9     3.8     3		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,											2.6
<ul> <li>K 不動産業、物品賃貸業(68~70)</li> <li>L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74)</li> <li>M 宿泊業、飲食サービス業(75~77)</li> <li>(76 飲食店)</li> <li>N 生活関連サービス業(78~80)</li> <li>O 教育、学習支援業(81、82)</li> <li>P 医療、福祉(83~85)</li> <li>128</li> <li>86</li> <li>42</li> <li>71</li> <li>60</li> <li>11</li> <li>80.3</li> <li>43.3</li> <li>281.8</li> <li>57</li> <li>60</li> <li>11</li> <li>80.3</li> <li>43.3</li> <li>281.8</li> <li>57</li> <li>56.5</li> <li>15</li> <li>60</li> <li>11</li> <li>80.3</li> <li>43.3</li> <li>281.8</li> <li>57</li> <li>56.5</li> <li>15</li> <li>60</li> <li>43</li> <li>50</li> <li>64</li> <li>62</li> <li>60</li> <li>129</li> <li>60</li> <li>147</li> <li>365</li> <li>199</li> <li>166</li> <li>17.0</li> <li>21.6</li> <li>11.4</li> <li>62</li> <li>223</li> <li>21.4</li> <li>8.1</li> <li>32.7</li> <li>66</li> <li>704</li> <li>0.2</li> <li>1.9</li> <li>3.8</li> <li>3</li> </ul>						,							
L 学術研究、専門・技術サービス業(71~74)													
M 宿泊業、飲食サービス業(75~77) 809 242 567 760 258 502 6.4 ▲ 6.2 12.9 49 (76 飲食店) 608 169 439 548 185 363 10.9 ▲ 8.6 20.9 60 N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) 303 156 147 365 199 166 ▲ 17.0 ▲ 21.6 ▲ 11.4 ▲ 62 O 教育、学習支援業(81、82) 243 93 150 309 86 223 ▲ 21.4 8.1 ▲ 32.7 ▲ 66 P 医療、福祉(83~85) 1,968 1,237 731 1,965 1,261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3													
(76 飲食店) 608 169 439 548 185 363 10.9 ▲ 8.6 20.9 60 N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) 303 156 147 365 199 166 ▲ 17.0 ▲ 21.6 ▲ 11.4 ▲ 62 O 教育、学習支援業(81、82) 243 93 150 309 86 223 ▲ 21.4 8.1 ▲ 32.7 ▲ 66 P 医療、福祉(83~85) 1,968 1,237 731 1,965 1,261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3													
N 生活関連サービス業、娯楽業(78~80) 303 156 147 365 199 166 ▲ 17.0 ▲ 21.6 ▲ 11.4 ▲ 62 O 教育、学習支援業(81、82) 243 93 150 309 86 223 ▲ 21.4 8.1 ▲ 32.7 ▲ 66 P 医療、福祉(83~85) 1,968 1,237 731 1,965 1,261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3	М												
O 教育、学習支援業(81、82)     243     93     150     309     86     223     ▲ 21.4     8.1     ▲ 32.7     ▲ 66       P 医療、福祉(83~85)     1,968     1,237     731     1,965     1,261     704     0.2     ▲ 1.9     3.8     3													
P 医療、福祉(83~85) 1,968 1,237 731 1,965 1,261 704 0.2 ▲ 1.9 3.8 3													
	۲		679	464	731 215	659	453	70 <del>4</del> 206	3.0	2.4		20	▲ 1.0
		(83 医療業) (85 社会保险,社会短地,企業事業)									4.4 2.0		
	_												
													15.0 5.4
1 1 7 2 7 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				·									9.8
	ა, I								_				9.8 ▲ 4.2
合計 10,636 6,378 4,258 9,407 5,692 3,715 13.1 12.1 14.6 1,229 129人以下 7,124 4,126 2,998 5,871 3,597 2,274 21.3 14.7 31.8 1,253	$\vdash$					— ·			_				▲ 4.2 ▲ 8.7
事 30~99人 2,403 1,479 924 2,607 1,501 1,106 ▲ 7.8 ▲ 1.5 ▲ 16.5 ▲ 204	事												<b>▲</b> 4.4
業 100~299 人 736 493 243 666 437 229 10.5 12.8 6.1 70	業	* *						· ·					
規   300~499人													
1,000人以上 52 46 6 60 53 7 ▲ 13.3 ▲ 13.2 ▲ 14.3 ▲ 8													

### Ⅱ - ④求人・求職パランスシート(令和3年3月)【常用一般及び常用パートの合計】

局計

新職業分類

			新職業分
間有効求人	職業計	月間有効求職	月間有効求人倍率
23,446	ART THE ALL THA ARE	22,943	1.
4.398	管理的職業 言思的。社会的聯繫	63 2.602	0.
-,	専門的・技術的職業	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1.
66	開発技術者	58	1.
66	製造技術者	154	0.
685	建築·土木·測量技術者	148	4.
216	情報処理・通信技術者	171	1
41	その他の技術者	19	2
71	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	34	2
1,039	保健師、助産師、看護師	522	1
345	医療技術者	92	3
237	その他の保健医療の職業	142	1
1,142	社会福祉の専門的職業	682	1
24	美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	102	0
466	その他の専門的職業	478	0
2,394	事務的職業	6,183	0
1,815	一般事務の職業	5,667	0
160	会計事務の職業	192	0
174	生産関連事務の職業	100	1
165	営業・販売関連事務の職業	136	1
13	外勤事務の職業	3	4
45	運輸・郵便事務の職業	21	2
22	事務用機器操作の職業	64	
2,671	販売の職業	1,575	1
1,967	商品販売の職業	1,144	1
15	販売類似の職業	26	C
689	営業の職業	405	1
4,664	サービスの職業	2,751	1
9	家庭生活支援サービスの職業	7	1
1,464	介護サービスの職業	776	1
244	保健医療サービスの職業	140	1
377	生活衛生サービスの職業	101	3
1,358	飲食物調理の職業	855	1
786	接客・給仕の職業	474	l i
74	居住施設・ビル等の管理の職業	137	d
352	その他のサービスの職業	261	
650	保安の職業	154	
455	農林漁業の職業	384	1
3,115	生産工程の職業	2,514	1
· ·	生産設備制御・監視の職業	·	
19	(金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断)	35	
29	生産設備制御・監視の職業	38	
21	(金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く) 生産設備制御・監視の職業(機械組立)	38	
	金属材料製造、金属加工、		
495	金属溶接・溶断の職業	245	2
1,285	製品製造・加工処理の職業	773	1
	(金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く)		
<b>※</b> (745)	※(うち食料品製造の職業)	<b>※</b> (363)	<b>※</b> (2
525	機械組立の職業	885	
446	機械整備・修理の職業	154	2
32	製品検査の職業 (金属材料製造、金属加工、金属溶接·溶断)	40	(
e e	(並属材料製造、並属加工、並属冷接・冷断)製品検査の職業	4.0	] .
55	(金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く)	46	
51	機械検査の職業	70	(
157	生産関連・生産類似の職業	190	(
1,372	輸送・機械運転の職業	954	1
1	鉄道運転の職業	1	1
1,041	自動車運転の職業	661	1
1	船舶・航空機運転の職業	3	(
16	その他の輸送の職業	51	(
313	定置・建設機械運転の職業	238	
1,796	建設・採掘の職業	554	3
309	建設躯体工事の職業	54	5
440	建設の職業(建設躯体工事の職業を除く)	193	2
250	電気工事の職業	62	4
794	土木の職業	231	3
3	採掘の職業	14	
1.870	運搬・清掃・包装等の職業	3.962	
588	運搬の職業	713	
740	達成の概念	682	
66	海	46	
	その他の運搬・清掃・包装等の職業	2,521	0
476		520	1
559	IT関連職業合計		
559 3,213	福祉関連職業合計	1,665	
559		1,665 1,047 1,247	1 1 0

<sup>(</sup>注) 1. 食料品製造業の職業については、厚生労働省職業分類「H生産工程の職業」のうち

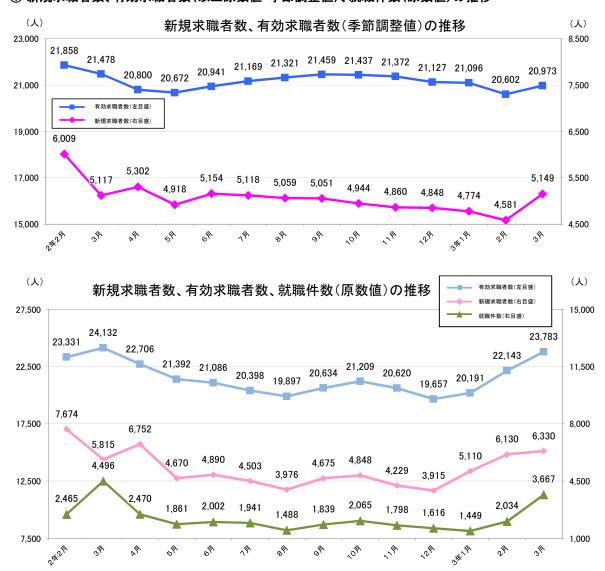
「54製品製造、加工処理の職業」の小分類コード543~555と「62製品検査の職業」の小分類コード623の総数である。

<sup>2.</sup> うち介護関係の職業については、厚生労働省職業分類「B専門的・技術的職業」のうち「16社会福祉の専門的職業」の小分類コード162、169と「Eサービスの職業」のうち「35家庭生活支援サービスの職業」の小分類コード351と「36介護サービスの職業」の総数である。

<sup>3.「</sup>常用」とは雇用期間の定めがないか又は4カ月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。)、パートタイムを含む。

### Ⅲ求職者

### ① 新規求職者数、有効求職者数(以上原数値・季節調整値)、就職件数(原数値)の推移



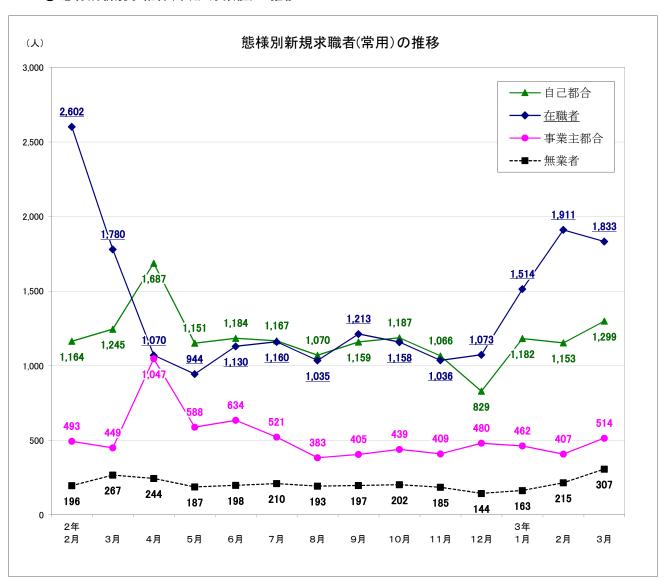
(1.06)

				(人・%)					
項目		季節詞	周整値	哥整値					
	新規求職者数		有効求職者数						
年月		前月比		前月比					
28年度									
29年度		-		-					
30年度									
元年度		-							
2年度									
31年3月	5,478	▲ 0.4	20,563	0.1					
2年2月	6,009	10.7	21,858	0.9					
3月	5,117	<b>▲</b> 14.8	21,478	▲ 1.7					
4月	5,302	3.6	20,800	▲ 3.2					
5月	4,918	▲ 7.2	20,672	▲ 0.6					
6月	5,154	4.8	20,941	1.3					
7月	5,118	▲ 0.7	21,169	1.1					
8月	5,059	▲ 1.2	21,321	0.7					
9月	5,051	▲ 0.2	21,459	0.6					
10月	4,944	▲ 2.1	21,437	▲ 0.1					
11月	4,860	▲ 1.7	21,372	▲ 0.3					
12月	4,848	▲ 0.2	21,127	▲ 1.1					
3年1月	4,774	<b>▲</b> 1.5	21,096	▲ 0.1					
2月	4,581	<b>▲</b> 4.0	20,602	▲ 2.3					
3月	5,149	12.4	20,973	1.8					

						(人・%)
項目			原数	效値		
	新規求職者数		有効求職者数		就職件数	
年月		前年同月比		前年同月比		前年同月比
28年度	72,198	▲ 5.7	266,808	<b>▲</b> 4.9	33,129	<b>▲</b> 4.6
29年度	68,354	▲ 5.3	252,154	▲ 5.5	31,099	<b>▲</b> 6.1
30年度	66,933	▲ 2.1	248,010	<b>▲</b> 1.6	29,788	<b>▲</b> 4.2
元年度	67,006	0.1	254,141	2.5	30,005	0.7
2年度	60,028	▲ 10.4	253,716	▲ 0.2	24,230	▲ 19.2
31年3月	6,276	▲ 3.8	23,037	▲ 0.6	3,798	▲ 10.6
2年2月	7,674	7.9	23,331	6.8	2,465	10.7
3月	5,815	▲ 7.3	24,132	4.8	4,496	18.4
4月	6,752	▲ 2.9	22,706	▲ 0.6	2,470	▲ 15.6
5月	4,670	▲ 17.7	21,392	▲ 2.8	1,861	▲ 29.3
6月	4,890	▲ 2.7	21,086	▲ 0.4	2,002	▲ 15.3
7月	4,503	▲ 11.1	20,398	▲ 0.2	1,941	▲ 13.4
8月	3,976	▲ 9.8	19,897	1.8	1,488	▲ 21.4
9月	4,675	<b>▲</b> 4.4	20,634	5.7	1,839	▲ 17.1
10月	4,848	▲ 7.0	21,209	7.7	2,065	<b>▲</b> 11.3
11月	4,229	▲ 28.1	20,620	0.1	1,798	▲ 12.7
12月	3,915	▲ 12.8	19,657	▲ 2.5	1,616	▲ 30.7
3年1月	5,110	▲ 13.7	20,191	▲ 2.4	1,449	▲ 29.4
2月	6,130	▲ 20.1	22,143	▲ 5.1	2,034	▲ 17.5
3月	6,330	8.9	23,783	▲ 1.4	3,667	▲ 18.4

<sup>(</sup>注) 数値は、全数(新規学卒者を除く)である。

### Ⅲ-② 態様別新規求職者(常用:原数値)の推移



/ I		04	١
()	-	70	,

項目	在耶	敞者	離耶	哉者	事業主	- 初今	白コ	都合	無美	<b>業者</b>
年月		前年同月比		前年同月比	争未	前年同月比		前年同月比	1	前年同月比
28年度	20,613	▲ 2.1	25,578	▲ 9.4	7,781	▲ 7.6	16,725	<b>▲</b> 9.5	3,906	<b>▲</b> 12.
29年度	19,509	▲ 5.4	24,045	▲ 6.0	7,043	<b>▲</b> 9.5	15,852	▲ 5.2	3,410	<b>▲</b> 12.
30年度	19,257	<b>▲</b> 1.3	22,888	<b>▲</b> 4.8	6,439	▲ 8.6	15,239	▲ 3.9	3,105	▲ 8.
元年度	18,870	▲ 2.0	22,057	▲ 3.6	5,986	<b>▲</b> 7.0	14,806	▲ 2.8	2,583	<b>▲</b> 16.
2年度	15,077	▲ 20.1	21,661	▲ 1.8	6,289	5.1	14,134	<b>▲</b> 4.5	2,445	<b>▲</b> 5.
31年3月	2,071	<b>▲</b> 4.6	1,864	<b>▲</b> 6.7	462	▲ 11.8	1,301	▲ 5.0	380	1.
2年2月	2,602	4.7	1,755	5.6	493	8.6	1,164	3.5	196	▲ 39.
3月	1,780	▲ 14.1	1,799	▲ 3.5	449	▲ 2.8	1,245	<b>▲</b> 4.3	267	▲ 29.
4月	1,070	▲ 13.2	2,949	3.4	1,047	3.6	1,687	3.5	244	<b>▲</b> 11
5月	944	▲ 27.2	1,842	▲ 11.4	588	11.4	1,151	▲ 18.8	187	▲ 20
6月	1,130	▲ 11.0	1,915	7.9	634	34.9	1,184	▲ 2.1	198	<b>▲</b> 17
7月	1,160	▲ 20.9	1,780	▲ 0.7	521	7.9	1,167	▲ 3.5	210	▲ 6
8月	1,035	▲ 22.3	1,535	▲ 0.2	383	20.4	1,070	<b>▲</b> 6.7	193	▲ 3.
9月	1,213	▲ 13.5	1,654	▲ 2.1	405	4.4	1,159	<b>▲</b> 4.4	197	8.
10月	1,158	▲ 16.6	1,741	▲ 8.1	439	▲ 8.0	1,187	▲ 9.9	202	<b>▲</b> 10.
11月	1,036	▲ 48.6	1,560	<b>▲</b> 4.8	409	▲ 8.5	1,066	▲ 3.6	185	0.
12月	1,073	▲ 13.5	1,366	▲ 3.1	480	9.8	829	▲ 8.4	144	<b>▲</b> 12
3年1月	1,514	<b>▲</b> 17.8	1,737	▲ 5.4	462	<b>▲</b> 4.7	1,182	▲ 5.1	163	<b>▲</b> 14.
2月	1,911	▲ 26.6	1,659	▲ 5.5	407	▲ 17.4	1,153	▲ 0.9	215	9.
3月	1.833	3.0	1.923	6.9	514	14.5	1.299	4.3	307	15.

### 一般職業紹介状況説明のポイント

R3.4.30

### ~有効求人倍率は 1.15 倍、前月を O.O3 ポイント上回る~

#### 【岩手の求人倍率等 (季節調整値)】

3月の有効求人倍率は、受理地別では 1.15 倍となり、前月を 0.03 ポイント上回る。95 カ月連続の 1 倍台。就業地別は 1.23 倍となり、前月を 0.03 ポイント上回る。99 カ月連続の 1 倍台。

3月の新規求人倍率は、受理地別では 1.80 倍となり、前月を 0.08 ポイント上回る。就業地別は 1.90 倍となり、前月を 0.05 ポイント下回る。

#### 【全国と東北の有効求人倍率 (季節調整値)】

- 3月の全国の有効求人倍率は1.10倍で、前月を0.01ポイント上回る。
- 3月の東北の有効求人倍率は1.19倍で、前月を0.04ポイント上回る。95カ月連続の1倍台。

### 【安定所別・地域別の有効求人倍率(原数値)】

安定所別の有効求人倍率は、盛岡所・大船渡所・二戸所・久慈所で前年同月を下回り、除く 6 所で前年同月を上回 ろ。

沿岸部の平均は 0.99 倍 (前年同月を 0.02 ポイント下回る)。

内陸部の平均は1.17倍(前年同月を0.04ポイント下回る)。

有効求人数は、釜石所・宮古所・一関所・水沢所・北上所で前年同月を上回り、除く5所で前年同月を下回る。 有効求職者数は、盛岡所・水沢所で前年同月を上回り、除く8所で前年同月を下回る。

### 【求人の状況 (季節調整値で、前月との比較)】

新規求人数は 9,274 人で、前月比 1,410 人(17.9%)増加。 有効求人数は 24,188 人で、前月比 1,199 人(5.2%)増加。

#### ○主な産業の新規求人の状況(原数値で、前年同月との比較)

#### ・建設業 (0.8%増加)

4カ月連続で前年同月を上回る。地域別には、内陸部 14人(1.7%)増加、沿岸部 4人(1.1%)減少。所別には、北上所 26人(30.6%)増加、釜石所 25人(37.3%)増加など、10所中 5所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち北上所では、令和 2年 12月から 2月にかけての大雪に伴い一般住宅の屋根修理、塗り替え需要が増加したことで複数の塗装工事会社から塗装工等の求人が増加したこと等で増加。釜石所では、大雪に伴う舗装道路が痛み、補修工事の増加等で土木建設会社から舗装作業員等の求人が増加したこと等で増加。

#### ・製造業(35.5%増加)

2カ月連続で前年同月を上回る。増加した主な産業中分類では、09食料品製造業94人(28.4%)増加、29電気機械器具製造業80人(195.1%)増加、28電子部品・デバイス・電子回路製造業57人(178.1%)増加など。雇用形態別には、フルタイム求人239人(33.6%)増加、パートタイム求人93人(41.7%)増加。地域別には、内陸部296人(44.6%)増加、沿岸部36人(13.3%)増加。所別には、水沢所96人(86.5%)増加、一関所64人(69.6%)増加など、10所中7所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち水沢所並びに一関所では、コロナ禍の巣ごもり需要でスーパー等からの受注が増加している複数の菓子製造会社や、自動車・半導体関連産業からの求人が増加したこと等で増加。

### · 運輸業、郵便業(15.6%減少)

2 カ月連続で前年同月を下回る。産業中分類別では、43 道路旅客運送業 39 人 (20.3%) 減少、44 道路貨物運送業 61 人 (21.2%) 減少。地域別には、内陸部 77 人 (16.8%) 減少、沿岸部 3 人 (5.6%) 減少。所別には、盛岡所 71 人 (31.6%) 減少、一関所 21 人 (38.2%) 減少など、10 所中 6 所で前年同月を下回る。減少が大きい所のうち盛岡所では、コロナ禍の観光バス需要の減少等からバス会社で求人を手控えていることや、タクシー会社の求人更新時期のズレ等で減少。一関所では、タクシー会社の求人更新時期のズレ等で減少。

#### ・卸売業、小売業(13.8%増加)

3カ月連続で前年同月を上回る。産業別では、卸売業 78人(38.6%)増加、小売業 110人(9.4%)増加。雇用形態別には、フルタイム求人 32人(6.6%)減少、パートタイム求人 220人(25.0%)増加。地域別には、内陸部 185人(17.1%)増加、沿岸部 3人(1.1%)増加。所別には、花巻所 128人(42.4%)増加、盛岡所 104人(26.2%)増加など、10所中 5 所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち花巻所では、ホームセンターの新規出店や、コロナ禍の巣ごもり需要等により受注が増加している日用品・医薬品等卸売会社からまとまった求人が提出されたこと等で増加。盛岡所では、ドラッグストアの新規出店に伴うまとまった求人や、複数のコンビニエンスストアを運営する事業所からまとまった求人が提出されたこと等で増加。

(裏面あり)

#### ・宿泊業、飲食サービス業 (6.4%増加)

16カ月ぶりに前年同月を上回る。産業中分類では、75 宿泊業 15人(8.3%)減少、76 飲食店 60人(10.9%)増加。雇用形態別には、フルタイム求人 16人(6.2%)減少、パートタイム求人 65人(12.9%)増加。地域別には、内陸部 14人(2.2%)増加、沿岸部 35人(30.2%)増加。所別には、宮古所 42人(247.1%)増加、水沢所 23人(100.0%)増加など、10所中 6所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち宮古所では、前年、新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から利用客が大幅に減少し、飲食店からの求人が大幅に減少したことの反動や、焼き肉店等からまとまった求人が提出されたこと等で増加。水沢所では、コロナ禍によるドライブスルー利用客が増加しているファストフード店から求人が増加したこと等で増加。

#### · 医療、福祉 (0.2%増加)

3カ月ぶりに前年同月を上回るが微増。産業中分類別では、83 医療業 20人 (3.0%) 増加、84 保健衛生 22人 (200.0%) 増加、85 社会保険・社会福祉・介護事業 39人 (3.0%) 減少。雇用形態別には、フルタイム求人 24人 (1.9%) 減少、パートタイム求人 27人 (3.8%) 増加。所別には、水沢所 47人 (31.8%) 増加、宮古所 25人 (22.9%) 増加など、10 所中 6 所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち水沢所では、新規に開所された老人福祉施設からまとまった求人が提出されたこと等で増加。宮古所では、公立保育所の指定管理者となった社会福祉法人から保育士等を募集するまとまった求人が提出されたこと等で増加。

#### ・サービス業(47.8%増加)

2カ月連続で前年同月を上回る。産業中分類別に増加が大きいのは、91職業紹介・労働者派遣業383人(230.7%)増加、92その他の事業サービス63人(12.3%)増加など。雇用形態別には、フルタイム求人439人(75.7%)増加、パートタイム求人8人(2.2%)増加。地域別には、内陸部474人(61.7%)増加、沿岸部27人(16.1%)減少。所別には、北上所165人(191.9%)増加、盛岡所99人(20.2%)増加など、10所中6所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち北上所並びに盛岡所では、労働者派遣会社から自動車・半導体関連産業への派遣求人が増加していることに加え、レストラン、スーパー等幅広い産業への派遣求人が増加傾向にあること等で増加。

#### ・公務・その他(66.9%増加)

6カ月ぶりに前年同月を上回る。産業中分類別では、98地方公務 207人 (76.7%)増加など。雇用形態別には、フルタイム求人 50人 (64.1%)増加、パートタイム求人 211人 (67.6%)増加。地域別には、内陸部 211人 (69.6%)増加、沿岸部 50人 (57.5%)増加。所別には、盛岡所 79人 (46.7%)増加、花巻所 74人 (180.5%)増加など、10所中 7所で前年同月を上回る。増加が大きい所のうち盛岡所並びに花巻所では、前年、地方公務員法並びに地方自治法の改正に伴い、例年 3月に提出される臨時・非常勤職員を募集する求人が、前年は 2月に提出されたことで、令和 2年 3月の求人が大幅に減少したことの反動等で増加。

### 【求職の状況(季節調整値で、前月との比較)】

新規求職者数は 5,149 人で、前月比 568 人(12.4%) 増加。 有効求職者数は 20,973 人で、前月比 371 人(1.8%) 増加。

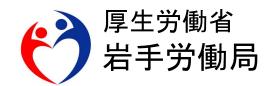
### 【就職の状況 (原数値)】

就職件数は、3,667件で、前年同月比829件(18.4%)減少。

#### 【年度別主要指標の推移 (原数値)】

岩手労働局

年度計	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年度差	前年度比増減率
新規求人数	130,256	132,121	131,678	124,232	100,033	<b>▲</b> 24,199	<b>▲</b> 19.5
新規求職申込件数	72,198	68,354	66,933	67,006	60,028	<b>▲</b> 6,978	<b>▲</b> 10.4
新規求人倍率	1.80	1.93	1.97	1.85	1.67	▲ 0.18	-
月間有効求人数	350,710	358,009	360,844	338,633	267,962	<b>▲</b> 70,671	<b>▲</b> 20.9
月間有効求職者数	266,808	252,154	248,010	254,141	253,716	<b>▲</b> 425	▲ 0.2
有効求人倍率	1.31	1.42	1.45	1.33	1.06	▲ 0.27	-
就職件数	33,129	31,099	29,788	30,005	24,230	<b>▲</b> 5,775	▲ 19.2



### **Press Release**

厚生労働省岩手労働局発表令和3年4月30日(金)

### 【照会先】

岩手労働局職業安定部職業安定課

课 長 小野寺 利一

職業紹介係長 早 野 勲

電 話 019 (604) 3004

報道関係者 各位

## 令和3年3月新規大学等卒業者の就職内定状況 — 令和3年3月末日現在(最終) —

~ 大学生の就職内定率は96.0% ~

岩手労働局(局長 稲原 俊浩)は、岩手県における令和3年3月新規大学等卒業者の就職内定状況(令和3年3月末日現在)を取りまとめましたので公表します。

【 就職内定率 】			
〇 大学	96.0%	(前年同期比	1.8ポイント低下)
○ 短大	95.5%	( 同	同率 )
〇 公共職業能力開発施設	100.0%	( 同	0. 5ポイント上昇)
○ 高等専門学校	98.1%	( 同	1.9ポイント低下)
○ 専修学校	95.8%	( 同	0.9ポイント低下)

<sup>(</sup>注) 岩手労働局が県内大学等の報告に基づいて令和3年3月末日現在の状況を取りまとめたもの<u>(平成21年度から開始)</u>。 なお、厚生労働省及び文部科学省が共同で公表する内定状況は、抽出調査で、学生に対しての電話・面接等による直接 調査方式である。また、現時点で一部大学については、就職内定者数をもって就職希望者数として計上している。

### 【労働局・ハローワークの取組み】

岩手労働局・ハローワークでは、学校卒業までに就職が決まらなかった学生に対しては、 個別支援を継続し、本人の適性や能力に応じた就職が1日でも早く実現するよう、全力で 支援を行います。

### 令和3年3月新規大学等卒業者の求職・就職内定状況

各年3月末日現在

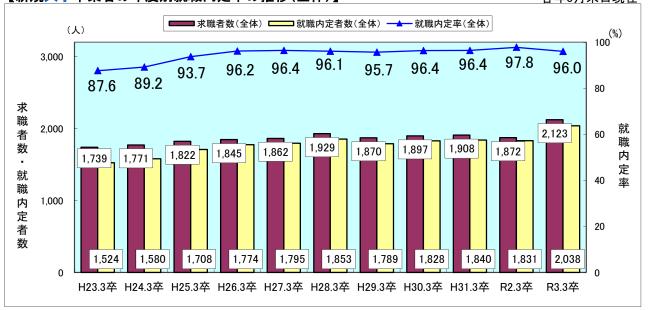
岩手労働局職業安定部職業安定課

	区 分	<b>令</b> 和	1 3 年 3 月	9 卒	令 和	1 2 年 3 月	万割问	前年同期比(%)
項目		計	男	女	計	男	女	(同期差ポイント)
	卒業者数	2.560	1.364	1,196	2,332	1,244	1,088	+9.8
	全体就職希望者数(A)	2,123	1,034	1,089	1,872	900	972	+13.4
大	うち県内就職希望者数(a)	913	404	509	785	339	446	+16.3
	就職内定者数(B)	2,038	984	1,054	1,831	878	953	+11.3
	うち県内就職内定者数(b)	884	386	498	768	328	440	+15.1
224		43.4	39.2	47.2	41.9	37.4	46.2	+1.5
学	就職内定率(B/A×100)	96.0	95.2	96.8	97.8	97.6	98.0	<b>▲</b> 1.8
	県内就職内定率(b/a×100)	96.8	95.5	97.8	97.8	96.8	98.7	▲ 1.0
	卒業者数	371	59	312	391	74	317	▲ 5.1
	全体就職希望者数(A)	290	30	260	311	45	266	▲ 6.8
短		201	19	182	197	29	168	+2.0
	就職内定者数(B)	277	27	250	297	42	255	▲ 6.7
	うち県内就職内定者数(b)	198	18	180	190	27	163	+4.2
大	県内就職内定者割合(b/B×100)	71.5	66.7	72.0	64.0	64.3	63.9	+7.5
	就職内定率(B/A×100)	95.5	90.0	96.2	95.5	93.3	95.9	0.0
	県内就職内定率(b/a×100)	98.5	94.7	98.9	96.4	93.1	97.0	+2.1
	卒業者数	180	152	28	198	166	32	▲ 9.1
公共	全体就職希望者数(A)	172	146	26	190	160	30	<b>▲</b> 9.5
職	うち県内就職希望者数(a)	122	102	20	115	96	19	+6.1
業能	就職内定者数(B)	172	146	26	189	160	29	▲ 9.0
力 開	うち県内就職内定者数(b)	122	102	20	115	96	19	+6.1
発	県内就職内定者割合(b/B×100)	70.9	69.9	76.9	60.8	60.0	65.5	+10.1
施設	就職内定率(B/A×100)	100.0	100.0	100.0	99.5	100.0	96.7	+0.5
	県内就職内定率(b/a×100)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	卒業者数	174	145	29	186	153	33	<b>▲</b> 6.5
	全体就職希望者数(A)	105	82	23	97	75	22	+8.2
高	うち県内就職希望者数(a)	13	11	2	17	12	5	▲ 23.5
	就職内定者数(B)	103	81	22	97	75	22	+6.2
	うち県内就職内定者数(b)	13	11	2	17	12	5	▲ 23.5
専	県内就職内定者割合(b/B×100)	12.6	13.6	9.1	17.5	16.0	22.7	<b>▲</b> 4.9
	就職内定率(B/A×100)	98.1	98.8	95.7	100.0	100.0	100.0	▲ 1.9
	県内就職内定率(b/a×100)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	卒業者数	1,571	758	813	1,621	766	855	▲ 3.1
<u>+</u>	全体就職希望者数(A)	1,454	689	765	1,496	710	786	▲ 2.8
専	うち県内就職希望者数(a)	806	361	445	786	365	421	+2.5
修	就職内定者数(B)	1,393	654	739	1,447	686	761	▲ 3.7
学	うち県内就職内定者数(b)	770	342	428	753	351	402	+2.3
校	県内就職内定者割合(b/B×100)	55.3	52.3	57.9	52.0	51.2	52.8	+3.3
	就職内定率(B/A×100)	95.8	94.9	96.6	96.7	96.6	96.8	▲ 0.9
	県内就職内定率(b/a×100) 大学等からの報告に基づき作成したも	95.5	94.7	96.2	95.8	96.2	95.5	▲ 0.3

<sup>※</sup> 大学等からの報告に基づき作成したもの。なお、厚生労働省及び文部科学省が共同で公表している内定状況は抽出調査であり、調査方法が 異なることから、この数値と直接比較はできない。

### 【新規大学卒業者の年度別就職内定率の推移(全体)】

各年3月末日現在

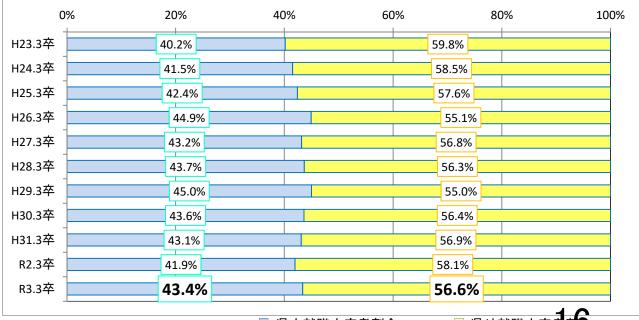


### 【新規大学卒業者の年度別就職内定率の推移(県内)】

### 各年3月末日現在



### 【新規大学卒業者の県内・県外就職内定者割合の推移】



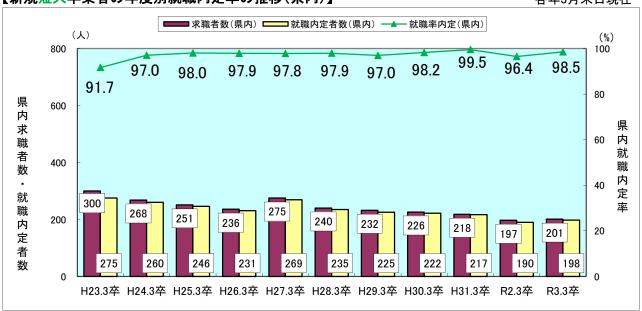
### 【新規短大卒業者の年度別就職内定率の推移(全体)】

#### 各年3月末日現在

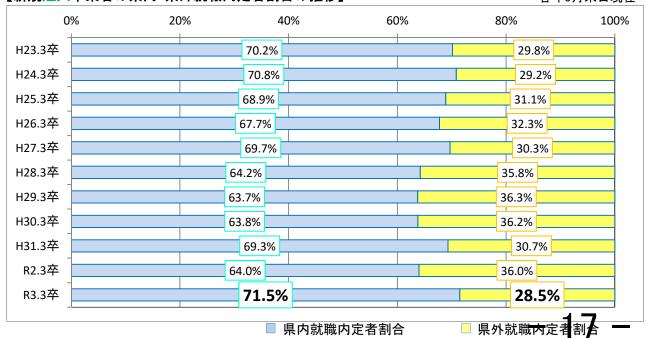


### 【新規短大卒業者の年度別就職内定率の推移(県内)】

### 各年3月末日現在

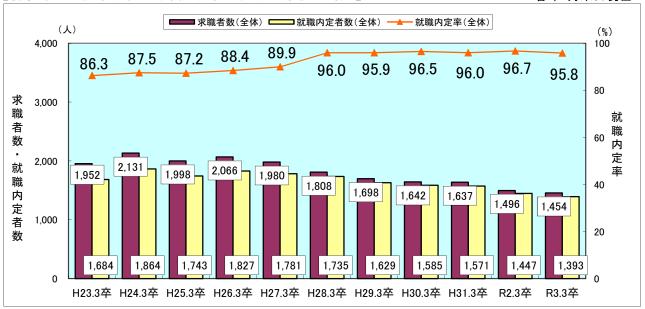


### 【新規短大卒業者の県内・県外就職内定者割合の推移】



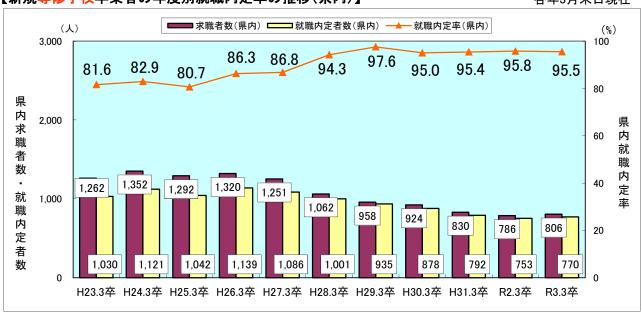
### 【新規専修学校卒業者の年度別就職内定率の推移(全体)】

#### 各年3月末日現在

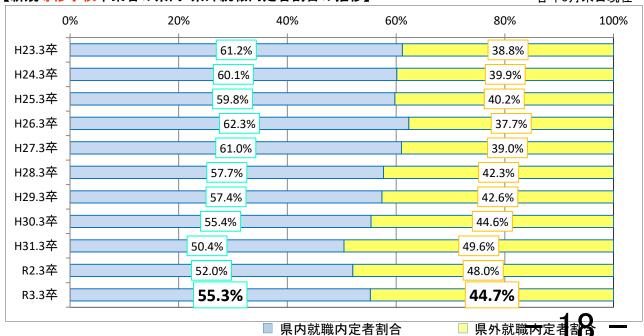


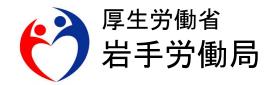
### 【新規専修学校卒業者の年度別就職内定率の推移(県内)】

### 各年3月末日現在



### 【新規専修学校卒業者の県内・県外就職内定者割合の推移】





### **Press Release**

厚生労働省岩手労働局発表令和3年4月30日(金)

### 【照会先】

岩手労働局職業安定部職業安定課課 長 小野寺 利一職業紹介係長 早 野 勲 電 話 019 (604) 3004

報道関係者 各位

## 令和3年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況 — 令和3年3月末日現在 —

~ 全体の就職内定率は99.3%, 県内就職内定率は99.1%~ ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、選考開始が1ヶ月後ろ倒しの10月16日

岩手労働局(局長 稲原 俊浩)は、岩手県における令和3年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況(令和3年3月末日現在)を取りまとめましたので公表します。

99.3% (前年同期比 就職内定率 全体 0.4ポイントの低下)  $\bigcirc$ 99.1% (前年同期比 0.4ポイントの低下) 県内  $\bigcirc$ 就職内定者数 全体 2,536人( 353人 (12.2%) の減少) 同 県内 1,809人( 同 169人 (8.5%) の減少) 〇 求職者数 全体 2,553人( 同 345人 (11.9%) の減少) 161人 (8.1%) の減少) 1,826人( 県内 同 〇 県内外就職内定者割合 県内 71.3% ( 2.8ポイントの上昇) 同 県外 28.7% ( 同 2.8ポイントの低下)

○ 産業別就職内定状況 内定者数の多い業種は、①製造業(991人) ②建設業(354人) ③卸売・小売業(345人)

(参考) 卒業者数 10,800人 (前年同期比 632人 (5.5%) の減少)

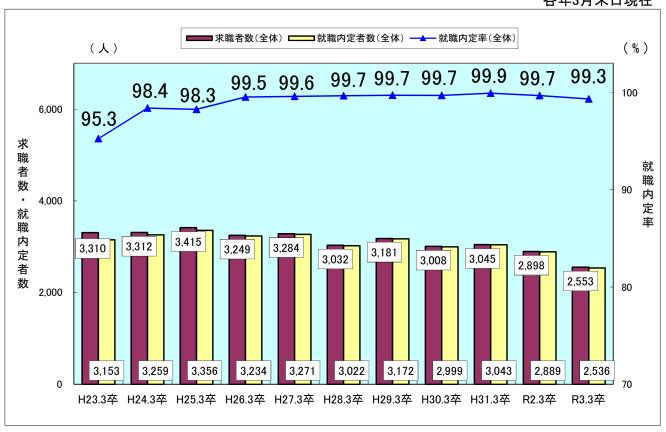
- ※ 学校又はハローワークの職業紹介を希望した生徒について取りまとめたもの。
- ※ 「県内」は県内に就職を希望する又は内定した者を、「県外」は県外に就職を希望する又は内定した者を表す。

### 【労働局・ハローワークの取組み】

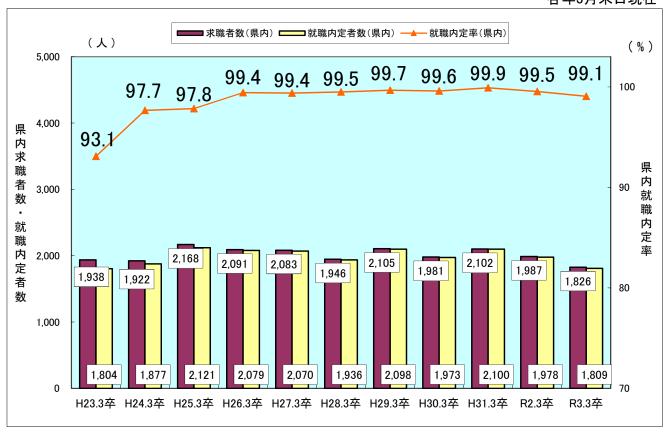
岩手労働局・ハローワークでは、学校卒業までに就職が決まらなかった生徒に対しては、本人の適性や能力に応じた個別支援を継続し、就職が1日でも早く実現するよう、全力で 支援を行います。

### 【新規高等学校卒業者の年度別就職内定率の推移(全体)】

各年3月末日現在

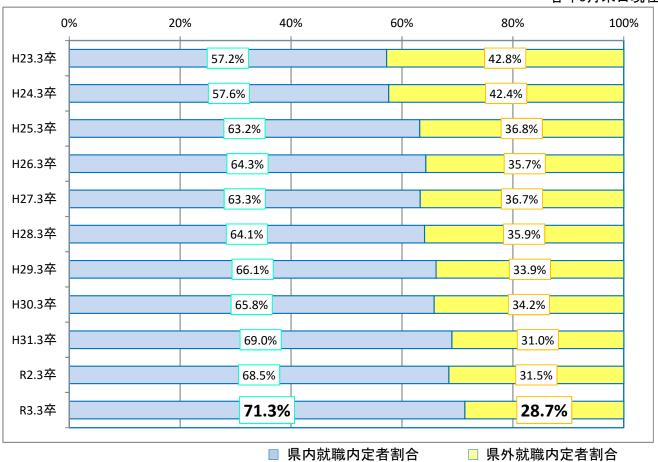


### 【新規高等学校卒業者の年度別就職内定率の推移(県内)】

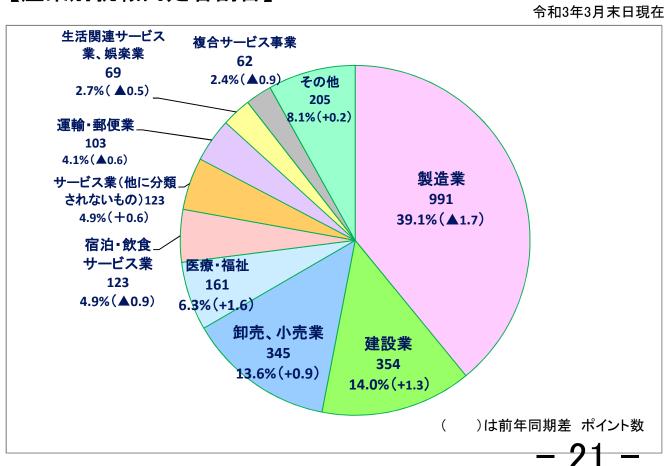


### 【県内・県外就職内定者割合の推移】

各年3月末日現在



### 【産業別就職内定者割合】



### 【令和3年3月新規高卒者対象求人受理状況】

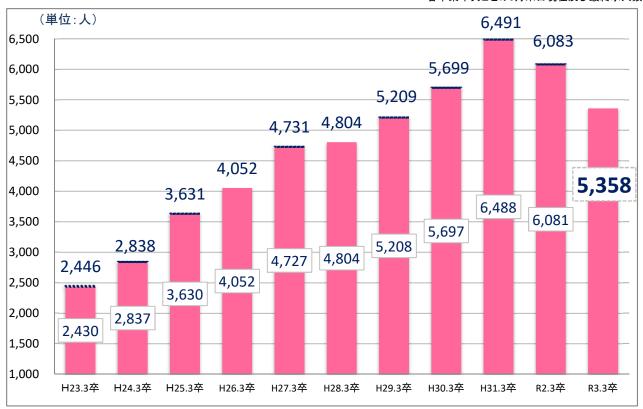
岩手県や市町村と連携した県内主要経済団体への求人確保要請や、求人の早期提出を促すポスター作成の取組み等を行った結果、求人数(3月末日現在)は、5,358人となり、過去10年間で4番目となった。

	令和3年	₹3月卒	令和2年	F3月卒	平成31年	∓3月卒
	求人件数(前年比)	求人数(前年比)	求人件数	求人数	求人件数	求人数
盛岡	768 (▲9.3%)	1,749 (▲8.0%)	847	1,902	819	1,910
花巻	169 (▲18.8%)	391 (▲21.5%)	208	498	218	546
一関	239 (▲17.3%)	<b>612</b> (▲12.1%)	289	696	280	727
水沢	302 (▲6.8%)	682 (▲12.3%)	324	778	319	765
北上	<b>227</b> (▲7.7%)	662 (▲20.6%)	246	834	270	1,036
二戸	90 (▲7.2%)	208 (▲5.0%)	97	219	100	222
内陸部計	1,795 (▲10.7%)	4,304 (▲12.6%)	2,011	4,927	2,006	5,206
釜石	140 (+4.5%)	303 (+0.7%)	134	301	140	335
宮古	128 (▲13.5%)	<b>250</b> ( <b>▲</b> 5.3%)	148	264	158	297
大船渡	91 (▲12.5%)	203 (▲23.1%)	104	264	121	348
久慈	147 (▲2.0%)	298 (▲8.3%)	150	325	142	302
沿岸部 計	<b>506</b> ( <b>▲</b> 5.6%)	1,054 (▲8.7%)	536	1,154	561	1,282
各所 計	<i>2,301</i> ( <b>▲</b> <i>9.7%</i> )	<i>5,358</i> ( <b>▲</b> 11.9%)	2,547	6,081	2,567	6,488

(注)各年ともに求人受理開始日(平成29年度より6月1日、平成28年度までは6月20日)から3月末日までに受理した求人数

### 【求人受理状況の推移(H23.3卒~R3.3卒)】

各卒業年次ごとの3月末日現在及び最終求人数



注1:各卒業年に卒業予定の新規高卒者向け求人の受理状況の推移

注2:求人受理開始日(平成29年度より6月1日、平成28年度までは6月20日)から3月末日までに受理した求人多の

注3:点線表示は最終求人数

### 令和3年3月新規高等学校卒業者を対象とする職業紹介状況

令和3年3月末日

岩手労働局職業安定部職業安定課

		3月末日	項目	県内求人数		<b>分職内完多</b>	数(県内外)		岩手牙側局:	issuit set the latest	
产主	生 職 当	€•規模別	块 口		(前年同期比%)		前年同期比%	うち男	(前年同期比%)	うち女 (前	前年同期比 %
庄,	* 49% 21	<u> </u>		5,358		2,536 (		1,531		1,005 (	<u>13.2</u> )
	A D	農・林・漁業	01~04	123 (		40 (		28		12 (	
	A,B			2 (							▲ 33.3 )
	C	鉱業、採石業、砂利採取業	05			1 (		1		0 (	0.0 )
	D -	建設業	06~08	1,256		354 (		308		46 (	+12.2 )
	E	製造業	09~32	1,616		991 (		670		321 (	▲ 9.1 )
		食料品製造業	(09)	388 (	-	190 (		91		99 (	<b>▲</b> 12.4 )
		飲料・たばこ・飼料製造業	(10)	9 (		4 (		4		0 (	▲ 100.0 )
		繊維工業	(11)	129 (		26 (		3		23 (	<b>1</b> 4.8 )
		木材·木製品製造業	(12)	41 (		12 (		6		6 (	+100.0)
		家具·装備品製造業	(13)	10 (	▲ 9.1 )	6 (	<b>▲</b> 25.0 )	5	( ▲ 16.7)	1 (	<b>▲</b> 50.0 )
		パルプ・紙・紙加工品製造業	(14)	19 (	▲ 34.5 )	6 (	<b>▲</b> 62.5 )	5	( <b>\$</b> 50.0 )	1 (	▲ 83.3 )
		印刷•同関連業	(15)	12 (	▲ 58.6 )	13 (	<b>▲</b> 43.5 )	8	( 🔺 11.1 )	5 (	<b>▲</b> 64.3 )
		化学工業	(16)	<b>30</b> (	▲ 9.1 )	24 (	<b>1</b> 27.3 )	14	( 🔺 33.3 )	10 (	<b>▲</b> 16.7 )
		石油製品•石炭製品製造業	(17)	0 (	0.0 )	3 (	<b>Δ</b> 25.0 )	3	( ▲ 25.0 )	0 (	0.0 )
		プラスチック製品製造業	(18)	<b>51</b> (	▲ 27.1 )	<b>63</b> (	+14.5)	28	( ▲ 6.7 )	<b>35</b> (	+40.0)
		ゴム製品製造業	(19)	22 (	▲ 15.4)	5 (	<b>▲</b> 54.5 )	4	( ▲ 42.9 )	1 (	<b>▲</b> 75.0 )
		窯業・土石製品製造業	(21)	<b>49</b> (	▲ 5.8 )	22 (	0.0 )	20	( +17.6)	2 (	<b>▲</b> 60.0 )
		鉄鋼業	(22)	18 (	▲ 59.1 )	<b>39</b> (	<b>▲</b> 57.6 )	36	( <b>\$</b> 57.6 )	3 (	<b>▲</b> 57.1 )
I		非鉄金属製造業	(23)	13 (		10 (		9		1 (	0.0 )
I		金属製品製造業	(24)	130		50 (		41		9 (	<b>▲</b> 18.2 )
		はん用機械器具製造業	(25)	59 (		41 (		32		9 (	+50.0 )
産		生産用機械器具製造業	(26)	71 (		36 (		33		3 (	<b>▲</b> 50.0 )
		業務用機械器具製造業	(27)	27 (		18 (		11		7 (	+16.7)
業		電子部品・デバイス・電子回路製造業		228	-	173 (		131		42 (	+10.7)
*		電気機械器具製造業	(29)	91 (		60 (		41		19 (	
		情報通信機械器具製造業	(30)								+11.8)
別				27 (		12 (		7		5 (	- )
		輸送用機械器具製造業	(31)	142 (		148 (	<b>▲</b> 12.9 )	119		29 (	▲ 6.5 )
		その他の製造業	(20,32)	50 (		30 (		19		11 (	▲ 21.4 )
	F	電気・ガス・熱供給・水道業	33~36	46 (		40 (		32		8 (	0.0 )
	G	情報通信業	37~41	24 (	-	34 (	+3.0 )	25		9 (	▲ 30.8 )
	Н	運輸業、郵便業	42~49	82 (	▲ 29.3 )	103 (	<b>▲</b> 23.7 )	79	( ▲ 19.4 )	24 (	▲ 35.1 )
	I	卸売業、小売業	50~61	<b>617</b> (	▲ 15.4)	<b>345</b> (	<b>▲</b> 6.3 )	141	( ▲ 14.5 )	204 (	+0.5)
		卸売業	50 <b>~</b> 55	140 (	▲ 23.1 )	82 (	<b>▲</b> 11.8 )	41	( ▲ 25.5 )	41 (	+7.9)
		小売業	56~61	<b>477</b> (	<b>▲</b> 12.8 )	263 (	<b>4.4</b> )	100	( ▲ 9.1 )	163 (	<b>▲</b> 1.2 )
	J	金融業、保険業	62~67	<b>57</b> (	▲ 5.0 )	43 (	+7.5)	7	( +40.0 )	36 (	+2.9)
	K	不動産業、物品賃貸業	68 <b>~</b> 70	<b>53</b> (	▲ 29.3 )	11 (	<b>▲</b> 71.1 )	6	( ▲ 45.5 )	5 (	<b>▲</b> 81.5 )
	L	学術研究、専門・技術サービス業	71~74	48 (	+4.3)	28 (	<b>12.5</b> )	23	( +4.5)	5 (	▲ 50.0 )
	М	宿泊業、飲食サービス業	75~77	<b>324</b> (	<b>A</b> 22.9 )	123 (	<b>Δ</b> 25.9 )	43	( +2.4 )	80 (	<b>▲</b> 35.5 )
		宿泊業	75	131 (	<b>4</b> 6.7)	<b>62</b> (	<b>4</b> 0.4 )	23	( ▲ 17.9 )	<b>39</b> (	<b>4</b> 8.7 )
		飲食サービス業	76,77	193 (	+10.9)	61 (	<b>▲</b> 1.6 )	20		41 (	<b>▲</b> 14.6 )
I	N	生活関連サービス業、娯楽業	78~80	212 (		69 (	<b>▲</b> 25.0 )	21		48 (	<b>▲</b> 36.0 )
I	0	教育、学習支援業	81,82	14 (		6 (	+100.0 )	1		5 (	+66.7
I	P	医療、福祉	83~85	516 (		161 (	+17.5)	30		131 (	+17.0)
I	Q Q	複合サービス事業	86,87	99 (		62 (		25		37 (	<b>▲</b> 45.6 )
I	R	サービス業(他に分類されないもの)	88~96	266		123 (			( <b>A</b> 1.1 )	32 (	+3.2)
	S,T	公務、その他	97~99	3 (		2 (		0		2 (	<b>+3.2</b> )
$\vdash$	A,B	管理·専門·技術	(01~24)	507 (		264	+3.9 )	224		40 (	<b>▲</b> 9.1 )
I											
	С	事務	(25~31)	407 (		304 (	▲ 15.6 )	72		232 (	<b>▲</b> 15.0 )
職	D	販売	(32~34)	388 (	▲ 25.1 )	229 (	<b>▲</b> 12.6 )	83		146 (	<b>▲</b> 12.0 )
		サービス	(35~42)	983 (		325 (	<b>▲</b> 16.5 )	89		236 (	<b>▲</b> 21.1 )
業	H,I,J,K	技能工等		2,839 (		1,340 (	<b>▲</b> 13.3 )	1,016		324 (	▲ 6.9 )
l		製造、制作の職業	(49~64)	1,820 (	<b>14.0</b> )	991 (	<b>▲</b> 12.6 )	708	( ▲ 16.6 )	283 (	▲ 0.7 )
別		定置機関・建設機械運転,電気工事	(69, 72)	239 (		103 (	▲ 1.0 )	99		4 (	<b>42.9</b> )
		建設・採掘・運搬・清掃・包装等(70,71	,73,~78)	748 (		210 (	▲ 19.5 )	179	( ▲ 17.9 )	31 (	<b>▲</b> 27.9 )
		その他	(65~68)	32 (		36 (	<b>▲ 21.7</b> )	30	( ▲ 9.1 )	6 (	▲ 53.8 )
	F,G	上記以外の職業	(43~48)	234 (	▲ 0.8 )	74 (	<b>▲</b> 6.3 )	47	( ▲ 7.8 )	27 (	▲ 3.6 )
ļ,_		29人以下		1,896 (	▲ 10.2 )	484 (	+11.0)	270	( +19.5)	214 (	+1.9)
規		30~99人		1,746	▲ 16.6 )	601 (	<b>▲</b> 15.7 )	368	( ▲ 16.6 )	233 (	<b>▲</b> 14.3 )
模		100~299人		1,014 (	<b>4.0</b> )	<b>587</b> (	▲ 9.4 )	344	( ▲ 3.6 )	243 (	<b>▲</b> 16.5 )
悮		300~499人		320 (	▲ 19.6)	<b>256</b> (	<b>12.0</b> )	156	( ▲ 8.2 )	100 (	<b>17.4</b> )
別		500~999人		117 (		233 (	<b>▲ 29.8</b> )	155		78 (	<b>▲</b> 3.7 )
		1,000人以上		265	+115.4)	375 (	<b>▲</b> 20.0 )	238	( ▲ 16.8 )	37 (	<b>▲</b> 25.1 )
		T,000人以上 T成10年11日改宁の「日本煙淮産業公料				570 (	<b>—</b> 20.0 /	200		<u>, - , ~ _ </u>	<u> </u>

(注) 平成19年11月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分によっています。

### 令和3年3月 新規高等学校卒業者の安定所別 求職・求人・就職内定状況

(令和3年3月末日現在)

				3	求職者数						求人数(県内)			求人倍率(県内	)	卒業者数			
	令和	03年3月	卒	令和	和2年3月	卒	前年	同期比	(%)	令和3年3月卒	令和2年3月卒	前年同期比(%)	令和3年3月卒	令和2年3月卒	令和2年3月卒 前年同期差		令和2 年	前年比	
		県内	県外		県内	県外		県内	県外						(ポイント)	3月卒	3月卒	(%)	
盛岡	766	524	242	883	602	281	▲ 13.3	▲ 13.0	▲ 13.9	1,749	1,902	▲ 8.0	3.34	3.16	+0.18	4,570	4,817	▲ 5.1	
釜 石	152	126	26	168	124	44	▲ 9.5	+1.6	<b>4</b> 0.9	303	301	+0.7	2.40	2.43	▲ 0.03	480	519	▲ 7.5	
宮古	176	138	38	204	130	74	▲ 13.7	+6.2	▲ 48.6	250	264	▲ 5.3	1.81	2.03	▲ 0.22	610	578	+5.5	
花 巻	170	150	20	211	175	36	▲ 19.4	<b>▲</b> 14.3	<b>4</b> 4.4	391	498	▲ 21.5	2.61	2.85	▲ 0.24	872	984	▲ 11.4	
一関	329	198	131	321	191	130	+2.5	+3.7	+0.8	612	696	▲ 12.1	3.09	3.64	▲ 0.55	1,158	1,121	+3.3	
水 沢	324	248	76	365	246	119	▲ 11.2	+0.8	▲ 36.1	682	778	▲ 12.3	2.75	3.16	▲ 0.41	930	983	▲ 5.4	
北上	297	218	79	346	265	81	<b>▲</b> 14.2	<b>▲</b> 17.7	▲ 2.5	662	834	▲ 20.6	3.04	3.15	▲ 0.11	890	980	▲ 9.2	
大船渡	116	88	28	116	89	27	0.0	▲ 1.1	+3.7	203	264	▲ 23.1	2.31	2.97	▲ 0.66	445	504	▲ 11.7	
二戸	83	50	33	132	83	49	▲ 37.1	▲ 39.8	▲ 32.7	208	219	▲ 5.0	4.16	2.64	+1.52	392	437	▲ 10.3	
久 慈	140	86	54	152	82	70	▲ 7.9	+4.9	▲ 22.9	298	325	▲ 8.3	3.47	3.96	▲ 0.49	453	509	▲ 11.0	
合 計	2,553	1,826	727	2,898	1,987	911	<b>1</b> 1.9	▲ 8.1	▲ 20.2	5,358	6,081	▲ 11.9	2.93	3.06	▲ 0.13	10,800	11,432	▲ 5.5	

		就職内定者数								就職內定率						未内定者数					
	令和	和3年3月	卒	令和	和2年3月	卒	前年	F同期比(	%)	令和34	年3月卒	令和2年	年3月卒	前年同(ポイン		令和3年	年3月卒	令和24	年3月卒	前年同期	钥比(%)
		県内	県外		県内	県外		県内	県外		県内		県内		県内		県内		県内		県内
盛岡	757	515	242	874	593	281	▲ 13.4	▲ 13.2	▲ 13.9	98.8	98.3	99.0	98.5	▲ 0.2	▲ 0.2	9	9	9	9	0.0	0.0
釜 石	152	126	26	168	124	44	<b>▲</b> 9.5	+1.6	▲ 40.9	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0	0	0	0	-	_
宮古	176	138	38	204	130	74	▲ 13.7	+6.2	▲ 48.6	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0	0	0	0	_	_
花 巻	170	150	20	211	175	36	▲ 19.4	▲ 14.3	<b>4</b> 4.4	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0	0	0	0	_	_
一関	327	196	131	321	191	130	+1.9	+2.6	+0.8	99.4	99.0	100.0	100.0	▲ 0.6	▲ 1.0	2	2	0	0	-	_
水沢	322	246	76	365	246	119	<b>1</b> 1.8	0.0	▲ 36.1	99.4	99.2	100.0	100.0	▲ 0.6	▲ 0.8	2	2	0	0	_	_
北上	297	218	79	346	265	81	▲ 14.2	▲ 17.7	<b>▲</b> 2.5	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0	0	0	0	-	_
大船渡	114	86	28	116	89	27	<b>▲</b> 1.7	▲ 3.4	+3.7	98.3	97.7	100.0	100.0	<b>▲</b> 1.7	▲ 2.3	2	2	0	0	-	_
二戸	82	49	33	132	83	49	▲ 37.9	<b>▲</b> 41.0	▲ 32.7	98.8	98.0	100.0	100.0	▲ 1.2	▲ 2.0	1	1	0	0	-	_
久 慈	139	85	54	152	82	70	▲ 8.6	+3.7	▲ 22.9	99.3	98.8	100.0	100.0	▲ 0.7	▲ 1.2	1	1	0	0	-	_
合 計	2,536	1,809	727	2,889	1,978	911	▲ 12.2	▲ 8.5	▲ 20.2	99.3	99.1	99.7	99.5	▲ 0.4	▲ 0.4	17	17	9	9	+88.9	+88.9

令和3年3月卒 未内定者数の推移										
		県内								
<sup>令和2年</sup>	762	539								
11月	359	275								
12月	205	170								
<sup>令和3年</sup> 1月	120	106								
2 月	57	50								
3 月	17	17								
4 月	-	1								
5 月	-	_								
6 月	-									

<sup>(</sup>注) 求人数(県内)とは、県内のハローワークで受付けた求人数。

## 令和3年5月・6月の 雇用調整助成金の特例措置等について

### 延長について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、**令和3年4月30日**までを期限に雇用調整助成金の特例措置を講じてきたところですが、**一部内容を変更し**、

## この特例措置を6月30日まで延長いたします。

### 特例措置の内容

	判定基礎	期間の初日	~4月末	5月・6月			
	原則的な措置 【全国】		4/5(10/10) 15,000円	4/5(9/10) 13,500円 <b>1</b>			
中小企	業況特例(※ 1) 【全国】		_	4/5(10/10) 15,000円 <b>②</b>			
業	地域に 係る特例 (※2)	緊急事態宣言		予定 4/5 (10/10) 2 15,000円 2			
		まん延防止等 重点措置	_	4/5(10/10) 15,000円 <b>②</b>			
	原則的な措置 【全国】		2/3(3/4) 15,000円	2/3(3/4) 13,500円 <b>1</b>			
大企	業況特	寺例(※1) 【全国】	4/5(10/10) 15,000円	4/5(10/10) 15,000円 <b>2</b>			
<b>業</b>	地域に	緊急事態宣言	4/5(10/10)	<del>予定</del> 4/5 (10/10) 15,000円 <b>2</b>			
	係る特例   (※2) 	る特例 <u>+ / 7515+ 15 000</u> 円	4/5(10/10) 15,000円 <b>②</b> )				

(注) 金額は1人1日あたりの上限額、括弧書きの助成率は解雇等を行わない場合

①は令和2年1月24日から判定基礎期間の末日までの解雇等の有無及び「判定基礎期間末日の労働者数が各月末の労働者数平均の4/5以上」の要件により適用する助成率を判断しています。

②は令和3年1月8日から判定基礎期間の末日までの解雇等の有無により適用する助成率を判断しています。

〇予定の部分は施行にあたっては厚生労働省令の改正等が必要であり、現時点での予定です。

〇雇用保険被保険者以外の方に対する休業手当については、「緊急雇用安定助成金」として支給しています。

厚生労働省HP

お問合せ先 ご不明な点は、以下のコールセンターまでお問い合わせ下さい。

雇用調整助成金、産業雇用安定助成金、学校等休業助成金・支援金コールセンター 0120-60-3999 受付時間 9:00~21:00 土日・祝日舎む 25



厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク



### ※1 業況特例 (特に業況が厳しい全国の事業主)

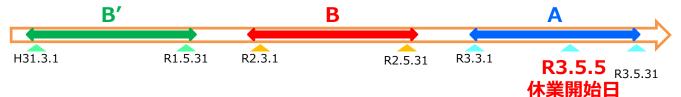
### 【対象となる事業主】

AとBそれぞれの月平均値の生産指標(売上げ高等)を比較し、Aが30%以上減少している事業主

A: 休業の初日が属する月から遡って3か月間の生産指標

B:Aの3ヶ月間の生産指標に対して、前年同期または前々年同期の生産指標 (雇用保険適用事業所設置後であって労働者を雇用している場合に限る。)

例:令和3年5月から休業を実施した場合



### 【対象となる休業等】

令和3年1月8日から6月末まで(※)の休業等(短時間休業を含む)

(※) 中小企業は5月1日から6月末まで(4月末までは本特例を受けずに同様の助成が受けられます。)

### ※2 地域に係る特例 (営業時間の短縮等に協力する事業主)

### 【対象となる事業主】

### 以下を満たす飲食店や催物(イベント等)を開催する事業主等

- ①まん延防止等重点措置の対象区域において都道府県知事による要請等を受けて、
- ②まん延防止等重点措置を実施すべき期間を通じ、
- ③要請等の対象となる施設(要請等対象施設)の全てにおいて、
- ④営業時間の変更、収容率・人数上限の制限、飲食物提供又はカラオケ設備利用の自粛に協力する

### 【対象となる休業等】

要請等対象施設における以下の期間を含む判定基礎期間の休業等(短期間休業を含む)



### 厚生労働省ホームページに掲載する区域及び期間

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\_roudou/koyou/kyufukin/cochomoney\_00002.html

※上記の他、前ページのとおり厚生労働省令の改正等を行ったうえで緊急事態宣言に関する特例を設ける予定です。

### 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の対象期間の延長 及び緊急事態宣言の発令等に伴う地域特例のお知らせ

### 申請対象期間の延長及び日額上限の変更について

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金について、<u>申請対象期間が令和3年6月末まで延長</u>となりました。なお、今回延長の対象となった5月・6月分については、<u>1日あたりの支給上限額が原則9,900円(※)</u>となります。

	申請対象期間	申請期限	支給上限日額	
	令和2年10月~12月	令和3年5月31日(月)	11,000円	
中小企業	令和3年1月~4月	令和3年7月31日(土)		
	令和3年5月~6月	令和3年9月30日(木)	9,900円 (※)	
	令和2年4月~6月	令和3年7月31日(土)	11 000	
大企業	令和3年1月8日~4月	1741344/月31日(上)	11,000円	
	令和3年5月~6月	令和3年9月30日(木)	9,900円 (※)	

### 【注意点】(中小企業、大企業共通)

- ●※一部対象地域においては、申請対象期間が5月~6月分の場合でも、支給上限日額が11,000円となります。(詳細については裏面をご参照ください。)
- ●申請開始日は休業した期間の翌月初日からとなります。(例:5月の休業であれば6月1日から申請可能)

### 【中小企業にお勤めの場合の注意点】

- 休業した期間が令和2年4~9月であっても以下の場合であれば申請を受け付けます。
  - ・10/30に公表したリーフレットの対象となる方(☆)
    - →令和3年5月31日(月)までに対象となる旨の疎明書を添付して申請いただければ、 本制度を知った時期にかかわらず受け付けます。
  - ・既申請分の支給(不支給)決定に時間がかかり、次回以降の申請が期限切れとなる方→支給(不支給)決定が行われた日から1か月以内に申請いただければ受け付けます。
  - (☆)・いわゆるシフト制、日々雇用、登録型派遣で働かれている方
    - ・ショッピングセンターの休館に起因するような外的な事業運営環境の変化に起因する休業の場合
    - ・上記以外の方で労働条件通知書等により所定労働日が明確(「週〇日勤務」など)であり、かつ、 労働者の都合による休業ではないにもかかわらず、労使で休業の事実について認識が一致しない場合。

### 【大企業にお勤めの場合の注意点】

- 対象者については大企業に雇用されるシフト制労働者等(※)であって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主が休業させ、その休業に対する賃金(休業手当)を受け取っていない方。
- (※) 労働契約上、労働日が明確でない方(シフト制、日々雇用、登録型派遣)
- ※令和2年11月7日以降に時短要請等を発令した都道府県は、それぞれの要請の始期以降の休業も含みます。対象都道府県については、 裏面に記載の厚生労働省HP特設サイト中の「新型コロナウイルス感染対応休業支援金・給付金」のご案内リーフレットをご確認ください。





(注) 緊急事態宣言に関する特例は施行にあたって厚生労働省令の改正等が必要であり、 現時点での予定です。

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴う特例(地域特例)

以下の地域特例の対象となる期間及び区域において、知事が行う要請を受けて飲食店等の施設について営業時間の短縮等に協力する場合で、事業主に休業させられる労働者が休業手当を受け取れないときは、1日あたりの支給上限額が11,000円となります。

### 【対象となる休業】

### 以下を満たす飲食店や催物(イベント等)を開催する事業主等が命じる休業

- ①緊急事態宣言が発令された地域及びまん延防止等重点措置の対象区域において都道府県 知事による要請等を受けて、
- ②緊急事態宣言が発令された期間及びまん延防止等重点措置を実施すべき期間を通じ、
- ③要請等の対象となる施設(要請等対象施設)の全てにおいて、
- ④営業時間の変更、収容率・人数上限の制限、飲食物提供又はカラオケ設備利用の自粛に協力する

		令和3年4月末まで	令和3年5月•6月
中小个署	原則的な措置	8 割 上限額:11,000円	8割 上限額:9,900円
中小企業	地域特例	_	8 割 上限額:11,000円
大企業	原則的な措置	8割(※) 上限額:11,000円	8割 上限額:9,900円
八正未	地域特例	_	8 割 上限額:11,000円

<sup>(※)</sup> なお、大企業にお勤めの方については、令和2年4月1日から令和2年6月30日までの休業の場合は、 6割となります。

### 地域特例の対象となる期間及び区域(令和3年4月30日時点)

- ○対象期間 → 令和3年5月1日~令和3年6月30日
- ○緊急事態宣言が発令された対象地域
- ○まん延防止等重点措置の適用地域の知事が定める区域
  - ※詳細については、厚生労働省ホームページに掲載されている区域を参照ください。<a href="https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000775192.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000775192.pdf</a>



### お問い合わせ

- 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金HP https://www.mhlw.go.jp/stf/kyugyoshienkin.html
- ■お電話でのお問い合わせは厚生労働省コールセンターへ 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金コールセンター 電話 0120-221-276 月〜金8:30~20:00/土日祝8:30~17:15





### 雇用調整助成金支給実績等

岩手労働局職業対策課

		令和3年4月	30日現在	令和3年5月14日現在		増減	
	合 計	2,505	(100%)	2,520	(100%)	0.6%	
	D 建設業	213	(8.5%)	216	(8.6%)	1.4%	
	E 製造業	493	(19.7%)	498	(19.8%)	1.0%	
	G 情報通信業	39	(1.6%)	39	(1.5%)	0.0%	
	H 運輸業·郵便業	140	(5.6%)	140	(5.6%)	0.0%	
相	I 卸売·小売業	284	(11.3%)	286	(11.3%)	0.7%	
談	K 不動産業、物品賃貸業	26	(1.0%)	26	(1.0%)	0.0%	
取	L 学術研究、専門・技術サービス業	42	(1.7%)	42	(1.7%)	0.0%	
扱	M 宿泊業、飲食業	651	(26.0%)	653	(25.9%)	0.3%	
状	N 生活関連サービス業	194	(7.7%)	194	(7.7%)	0.0%	
況	O 教育·学習支援業	37	(1.5%)	37	(1.5%)	0.0%	
""	P 医療·福祉業	89	(3.6%)	90	(3.6%)	1.1%	
	R サービス業	119	(4.8%)	120	(4.8%)	0.8%	
	<sub>その他</sub> 農林漁業、鉱業、水道業、 金融・保険業、複合サービス業等	33	(1.3%)	33	(1.3%)	0.0%	
	不明	82	(3.3%)	83	(3.3%)	1.2%	
	その他(商工団体)	15	(0.6%)	15	(0.6%)	0.0%	
	その他(社労士)	48	(1.9%)	48	(1.9%)	0.0%	
支	支給申請書受理件数	20,550	(3,542)	21,197	(3,555)	3.1% (0.4%)	
給	うち雇用調整助成金	16,544	(2,722)	17,049	(2,733)	3.1% (0.4%)	
実績	支給決定件数	19,744	(3,513)	20,511	(3,530)	3.9% (0.5%)	
435	うち雇用調整助成金	15,937	(2,706)	16,556	(2,716)	3.9% (0.4%)	

- 注1)「相談取扱状況」は、同一事業主から複数回の問い合わせがあっても、1件として計上。
- 注2)「休業等計画届」は、手続き簡素化に伴い、5月19日から提出が不要となった。
- 注3)「支給申請書受理件数」及び「支給決定件数」は、雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金を合算した値を計上。
- 注4)「支給実績」のカッコ内は、事業所数を計上。



### 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金支給実績

岩手労働局職業安定課

		令和3年4月30日現在		増減
支給	支給申請件数	4,948	5,174	4.6%
実績	支給決定件数	4,738	4,882	3.0%

(1)

県内企業の

認知度向上

の促進

(2)

就業支援等

#### 主な事業、内容等

### 成果

#### 令和3年度に向けての課題

■産業集積等に伴う新規雇用

が増加している一方、新型コ

ロナウイルス感染症の影響に

より県内企業・産業を知る機

会が減少し、多くの若者等が、 岩手で働き岩手で暮らすこと

の魅力を知らないまま進路を

選択し、県外へ流出すること

がないよう、県内企業の認知

◆いわて地域産業高度化人材育成事業費

- ・県内ものづくり産業等で働く若手人材を動画で発信
- ・企業紹介パネルの展示等による情報発信
- ◆いわて就業促進事業費
  - ふるさと発見!大交流会inIWATE2020 (仮称)
  - 県内企業による高校生の未来づくり応援事業 高校を会場に、県内企業ガイダンスを開催
- 新型コロナウイルス感染症対策オンライン就職支援事業 県内外の大学生を対象に企業ガイダンスをオンラインで 実施
  - ・県内就職促進情報誌「いわてダ・ヴィンチ2021」発刊

- ・新型コロナウイルス感染症感染対策のため中止
- ・県内20校で開催、参加生徒数2.179人
- 延べ9日間開催、85社、学生延べ655人

高校での動画による情報発信 63校

・小中高校でのパネル展示等28校

・県内高校生へ配布、県内大学等へ配架、書店で 販売

上記のほか、児童、生徒、学生等を対象とした企業・工場見学会、企業の効果的な魅力発信のためのセミ ナー等を実施

- ◆地方創生移住支援事業費
  - 企業向けプチ勤務オンライン勉強会
- ◆関連機関と連携した就職面接会や就職ガイダンス等の開 催
  - ・合同面接会の開催
  - U・Iターンフェアをオンラインで開催
  - 高校生就職未内定者向けの面談会の開催
- ◆ジョブカフェいわて、地域ジョブカフェ管理運営費 職業紹介前段階及び就職後のフォローアップ等の各種 サービスをオンラインも活用して提供

• 実施回数 1 回、参加者29名、93名雇用

- ・開催回数 4回
- 開催回数 1回
- ・開催回数 2回
- 利用者数累計 78. 155人
- 就職決定者数累計 1.413人

・マッチング支援6件

• 就職者数: 323人

上記のほか、就業支援員による高校生の就職支援や新卒者等の職場定着支援、岩手県シルバー人材セン ター連合会の運営支援を実施

- ◆農福連携総合支援事業費
- ◆水産加工・障がい福祉マッチング事業費
- ◆障がい者就業支援事業費(委託訓練)
- ◆障がい者就業・生活支援センターを通じた就業等の支援
- ◆地域就職氷河期世代支援加速化事業費 就職氷河期世代の就職活動や職場定着を支援するため、 ジョブカフェいわてを拠点として各種サービスを提供
- ・ジョブカフェいわての開館時間を延長

・マッチング支援21件、農業者等向け研修会等6

受講者26人、就職者数:15人(就職率65.2%)

・利用者数 71人 (うち34歳以上26人)

上記のほか、若年無業者等の自立支援、ひとり親家庭の親の就職活動支援等を実施

度向上の促進が必要

- う、女性、就職氷河期世代、 高齢者、障がい者などの就業
- 支援の更なる強化が必要

(3)

特に支援が必 要なものに対 する支援

■コロナ禍で有効求人倍率が 低下するなど雇用情勢が悪化 する中、全ての人々が意欲・ 能力を生かして活躍できるよ

(4)

促進

移住定住、

U·Iターンの

#### 主な事業、内容等

### 成果

### 令和3年度に向けての課題

◆岩手県出身県外大学生等応援事業 県外の岩手県出身大学生が本県で行うインターン シップや就職活動のために必要とする交通費・宿泊費 等を支援

支給実績707件

- ◆いわて就業促進事業費
  - ・岩手版ワーキングホリデー
- ◆ものづくり人材確保促進事業費

ものづくり産業の人材確保のため、県外理工系学部等の 学生へWebも活用して県内企業の情報提供、企業説明会 を実施

- ◆市町村と県外の若者の「つながり」(成人式、同窓会 等) を活用したU・I ターン情報の提供
- ◆いわて移住・定住促進事業費
- ・いわて暮らしサポートセンター、岩手県U・Iター ンヤンターでの移住相談
  - 市町村への「岩手県移住コーディネーター」の配置
- 全県移住イベント「いわて移住Week」のオンライン 開催
  - ・移住ツアーの開催
  - いわてU・Iターンクラブを活用した情報提供等

- マッチング成立企業数7社
- ・参加者数20名
- 首都圏等の理工系大学等の訪問回数60回
- ・企業説明会3回、延べ34社、参加学生291 人
- ・新型コロナウイルス感染症感染対策のため 中止
- 移住相談件数 1.441件
- 設置市町村 28市町村
- 者数33人
- オンライン開催1回、相談件数 235件
- ·加盟大学59大学

上記のほか、高校OBによる出前講座、成人式での企業情報の提供、岩手ゆかりのアスリートの就職支援 インターンシップ支援を実施

・3回(うちオンライン2回)、延べ参加

(5) 起業・創業の支

- ◆起業支援推進事業費
- ・民間の起業家グループ、金融機関等の関係機関と 連携し、実践的な起業支援プログラムを提供
- 受講者数 32名
- ・講座実施回数 28回 (オンライン含む)

上記のほか、産業支援機関と連携した次世代経営者育成や事業継承支援を実施

■地方創生の動きや、新 型コロナウイルス感染症 拡大の影響による地方移 住への関心の高まりを受 け、全国的に移住・定住 の取組みが強化されてお り、受入体制の整備や機 運の醸成を図るほか、移 住希望者に対する本県の 認知度を高める取組や、 若者等の起業・創業支援 の更なる強化が必要

### 主な事業、内容等

#### 成果

### 令和3年度に向けての課題

#### ◆いわて働き方改革加速化推進事業費

- ・県内企業における働き方改革の促進と労働生産性 向上を両輪とした取組みを推進していくため、企業参 加型の意識啓発運動を実施
- ・宣言企業数 544社
- ・いわて働き方改革AWARD2020受賞式
- ・受賞企業による事例紹介

#### (1) 働き方改革 の促進等

#### ◆テレワーク導入推進事業費補助

・県内企業におけるテレワークの推進を図るため、 テレワーク導入推進計画書に基づく事業の実施に係る 経費を補助

- •補助金説明会 2回(北上、盛岡)
- 申請件数 115件
- ・交付決定件数 80件 (<u>うち1件新型コロナウイルス感染症の影</u> 響により中止)

上記のほか、働き方改善計画の策定支援や、企業参加型の健康づくりの取組等を支援

(2) 処遇改善の 推進 ◆岩手県正社員転換・処遇改善本部への参画及び要請 活動

安定的な雇用の確保等に関する関係団体への要請活 動 実施回数3回

- ◆いわて女性活躍支援強化事業費
  - ・いわて女性活躍企業等認定制度等の普及等
- ・いわて女性活躍認定企業等 237社
- ・イクボス宣言企業数等 184社
- ·女性の就労支援相談件数 83件

- ・女性のエンパワーメント研修
- 経営者研修
- ・いわて女性の活躍応援セミナー

- ・実施回数 2回、参加者計 102人
- ・実施回数 2回、参加者 92人
- ・実施回数 1回、参加者 63人

#### (3) 職場定着の 促進

- ◆子育て応援推進事業費
  - ・いわて子育てにやさしい企業等の認定

・認定企業数延べ220社

上記のほか、若手女性農林漁業者育成支援や、ジョブカフェいわて、就業支援員等によるカウンセリング等の相談対応、企業向け研修会等を実施

■県内企業の雇用条件や待 遇面について、労働時間が 長く、賃金水準が低いなどの 県外企業との差異に の県外企業との差異して の場外に流金等の雇用 をを雇用形態などの雇用の 質の向上を図る必要が なか、「新しい生活働きなか、に対応した に対応し、企業の人材確保に 繋げていくことが必要 産

(2) 企業の人材

確保支援

### 取組内容

(1)

化等

(2)

省力化•機械

高付加価値

#### 主な事業、内容等

### 令和3年度に向けての課題

#### ◆自動車関連産業創出推進事業費

- 自動車関連産業の集積に向けた展示商談会の開催、 地場企業の生産体制の強化の支援
- ・Web展示商談会開催1回、アクセス者数 3.925人

成果

・工程改善研修会開催1回、5社

#### ◆いわての地場産品魅力拡大事業

- ・地場産品事業者の経営力向上、商品開発、人材育成 の支援
- アパレル産業「イワテメイドアパレルプロジェクト」 を実施
  - アパレルリモート商談会

- ・伝統工芸アドバイザーにより延べ17人を支援
- ・6社が12商品を開発、展示会及びオンライン 販売を実施
- ・参加 事業者 19社、バイヤー 7者

■県内企業において県民が 安心して働くことのできる 待遇を確保し、労働環境を 整備するためにも、イノ ベーションの推進や高付加 価値化など生産性を向上さ せ、県内企業の収益・経営 力を高めることが必要

上記のほかAI、IoT、ICT、ロボット等の新技術の導入や農林水産業の6次産業化の支援等を実施

#### (1) 職業能力開発 支援

◆公共職業能力開発費

県立職業能力開発施設等において、企業のニーズを見ながら、技 術・技能の高度化に対応した実践的な技術者などの育成を行うとと もに、中小企業等における職業能力の開発及び向上等を促進

- 産業技術短期大学校 在校生295人(定員330人)、充足率 89.4%
- 職業能力開発校 在校生98人(定員数150人)、充足率65.3%

上記のほか、認定職業訓練法人の運営支援離職者等の再就職のための職業訓練、ものづくり人材の育成等を実施

### ◆スマートもりおかプロジェクト(北上川パレープロジェクト推進)

- 各産業のより一層の第4次産業技術革命技術の導入を図るほか、 産業全体の人材確保対策の取組を実施
- ・いわて業界研究セミナー(オンライン開催) 学生 118名、事業所 28社

- ◆いわて就業促進事業費
- プロフェッショナル人材の活用による企業支援
- ◆いわて林業アカデミー運営事業費
- ◆いわて水産アカデミー運営事業費
- ◆介護人材マッチング支援事業費
- ◆保育対策総合支援事業費

- •相談件数260件、成約件数51件
- ・県内林業経営体へ16人就職
- 県内漁業団体へ6人就職
- マッチング件数259件
- マッチング件数108件

上記のほか、AI、IoT、ICT、ロボット等の新技術の導入や農林水産業の6次産業化の支援等を実施

- ◆いわて働き方改革加速化推進事業費
- ◆いわて女性活躍支援強化事業費
- ◆子育て応援推進事業費
- ◆障がい者就業支援事業費 など

- 宣言企業数 544社
- ・いわて子育てにやさしい企業等の認定 延べ220社

■社会経済の環境の変化に 的確に対応し、活力ある産 業を育成するため、高度な 技術の承継や第4次産業革 命技術への対応を含め、企 業活動を支える多様な人材 の確保や育成が必要

(3) ダイバーシティ 経営の促進

- ・いわて女性活躍認定企業等 237社
- ・イクボス宣言企業数等 184社
- ・事業所向け雇用推進セミナー2回、受講者89名

主な事業、内容等

成果

令和3年度に向けての課題

(1)

地域産業の振

「いわて県民計画 (2019~2028) 」の着実な推進

(2)

地域産業の

振興と雇用

の確保

長期・安定的 な雇用の確保 ・産業振興施策による雇用創出・拡大 被災地における産業復興などのほか、新規事業創出や経営支援、 企業誘致などの産業振興施策により、雇用を創出

・「雇用対策基金」を活用した雇用創出 将来的に被災地の雇用創出の中核となることが期待される事業 所が、被災者を1年以上雇用する場合に、雇入れに係る費用に対 する助成金を支給し、長期・安定的な雇用を促進。 雇用創出の合計

·新規(常用)雇用 1,523人(見込)

産業振興施策による雇用創出・拡大

·新規(常用)雇用 1,443人(見込)

「雇用機対策基金」を活用した雇用創出

·新規(常用)雇用 80人

■県内各界、各層が緊密に 連携し、地域の経済を地域 で回すことにより、持続可 能で活力ある循環型の地域 経済の振興を図る取組の強 力な推進が必要

### 参考

(参考)

令和2年度高卒者の県内就職割合(令和3年3月末日現在)

		_b, m46 +v	就職者			県内就職	R元年度	
		求職者	計	県内	県外	割合(%)	実績 (%)	
盛	畄	766	757	515	242	68.0	67. 8	
釜	石	152	152	126	26	82.9	73.8	
宮	古	176	176	138	38	78.4	63. 7	
花	巻	170	170	150	20	88.2	82. 9	
	関	329	327	196	131	59.9	59. 5	
水	沢	324	322	246	76	76. 4	67. 4	
北	上	297	297	218	79	73.4	76. 6	
大船	渡	116	114	86	28	75. 4	76. 7	
	戸	83	82	49	33	59.8	62. 9	
久	慈	140	139	85	54	61.2	53. 9	
合	計	2, 553	2, 536	1, 809	727	71.3	68. 5	

※各公共職業安定所別(岩手労働局提供資料を基に作成)

#### (参考)

令和2年度大卒者の県内就職割合(令和3年3月末日現在)(最終)

(単位・人 % 位)

			( .	<u> </u>	<u>/0、1火/</u>			
	就職	就職内定者			県内就職		R元年度実	
	希望者	計	県内	県外	割合(%)	緑	钅(%)	
大学	2, 123	2, 038	884	1, 154	43. 4		41. 9	
短大	290	277	198	79	71. 5		64. 0	
専修大学	1, 393	1, 393	770	623	55. 3	3	52. 0	
		•				_		

(岩手労働局調べ)

# 令和3年度いわてで働こう推進方針

## | 基本的な考え方

1 概況 (1)金融経済概況 (2)労働市場概況

## 2 現状と課題

本県においては、2000年以降、自然減と社会減が相まって人口減少するという本格的な人口減少期に入っています。今後、人口規模が縮小するとともに、生産年齢人口が減少し、人口構造が大きく変化していくことが見込まれており、各地域において労働力不足やそれに伴う生産量(生産高)の低下が懸念されます。

また、人口の社会増減には、地域の雇用環境が強く関わっており、国の経済政策や労働政策によるところが大きく、地方だけの取組では十分な改善が困難であることから、まずは国において地方を重視した経済財政政策を実施することが必要であるが、県としても、引き続き雇用対策や産業振興に努めていくことが必要です。

こうした中で、県では、就職期における若者の県外転出を減少させ、県内就業の促進を図るため、「いわてで働こう推進方針」を策定し、「いわてで働こう推進協議会」を核として、オール岩手の体制で県内就業の促進や働き方改革の推進に取り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、新規学卒求人の減少や離職者の増加が懸念されるところであり、引き続き、雇用の維持・確保に向けた支援をしていきます。

併せて、県内企業の経営・技術両面のイノベーションの推進による生産性の向上を図る取組を支援し、企業の魅力と雇用の質を高め、働く意欲の全ての者が希望をもって県内で就労できる雇用・労働環境の整備を促進する取組を進めていきます。

#### (1) 県内就業

人口減少、少子高齢化が進む中で、本県においては、産業集積等に伴う新規雇用が増加しています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により県内企業・産業を知る機会が減少し、多くの若者等が、岩手で働き、岩手で暮らすことの魅力を知らないまま進路を選択し、県外への流出が懸念されるところです。

このような状況の下、本県の産業人材の確保に向けて、若者等の県内就業の更なる推進とともに、効果的なU・Iターン対策が求められています。

さらに、地方創生の動きや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による地方移住への関心の高まりを受け、全国的に移住・定住の取組が強化されており、受入態勢の整備や気運の醸成を図るほか、移住希望者に対する本県の認知度を高める必要があります。

これらの県内外の人材確保の取組に加え、女性、就職氷河期世代、高齢者、障がい者などの就業支援や若者等の起業・創業支援の更なる強化も課題となっています。

#### (2) 正規雇用の拡大、雇用・労働環境の整備

県内企業の雇用条件や待遇面について、労働時間が長く、賃金水準が低いなどの県外企業との差異により人材が県外に流出していることから、賃金等の労働条件や雇用形態などの雇用の質の向上を図る必要があるほか、「新しい生活様式」に対応した柔軟な働き方を促進し、企業の人材確保につなげていく必要があります。

また、中長期的には、特定技能の在留資格による外国人労働者が増えると見込まれることから、関係機関等が連携して、外国人が安心して働き、暮らすことができる環境整備を図ることが必要です。

### (3) 生産性の向上

県内企業において県民が安心して働くことのできる待遇を確保し、労働環境を整備するためにも、イノベーションの推進や高付加価値化など生産性を向上させ、県内企業の収益・経営力を高めることが必要です。

### (4)企業が求める人材の確保

社会経済の環境の変化に的確に対応し、活力ある産業を育成するため、高度な技術の承継や第4次産業革命技術への対応を含め、企業活動を支える多様な人材の確保や育成が必要です。

#### (5) 地域産業の振興

県内各界、各層が緊密に連携し、地域の経済を地域で回すことにより、持続可能で活力ある循環型の地域経済の振興を図る取組を強力に進めていくことが求められています。

## 3 取組方針

県では、人口減少が続く中で、地域経済を支える中小企業、地域経済をけん引するものづくり産業や地域経済に好循環をもたらす観光産業、基幹産業である農林水産業などの産業政策を総合的に展開し、一人ひとりの能力を発揮できる多様な雇用の確保を進めています。

働く意欲のあるすべての人が、希望する仕事に就き、仕事のやりがいやプライドを持って働くことが実感でき、また、経済基盤の高度化や生産性の向上を図ることにより、仕事に相応した所得が得られることが実感できる岩手を目指し、以下の5点を「いわてで働こう推進方針」の柱として、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえつつ取り組んでいきます。

#### (1) 県内就業の促進

「いわてで働こう推進協議会」を核とした、若者等の県内就業の促進や本県へのU・Iターン就職や移住・定住の促進による人材確保等に取り組みます。

- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を中心に、「岩手ファースト」の意識改革の取組強化
- ・ U・Iターン就職の支援体制や情報発信の強化、移住定住の促進
- 女性の活躍支援や就職氷河期世代への支援等
- 女性や若者等の起業・創業支援

#### (2) 雇用・労働環境の整備

「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により長時間労働の是正等の働き方の改善に取り組むとともに正規 雇用の拡大や待遇の改善など県内企業の雇用・労働環境の整備を促進します。

- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核とした長時間労働の是正、テレワーク推進の取組強化
- ・ 若者や女性等の職場定着の促進

#### (3) 生産性の向上

県内企業の経営・技術両面のイノベーションの推進による生産性の向上を企業の魅力や雇用の質の向上につなげ、県内就業を促進します。

・ イノベーションの推進による生産性の向上や企業の収益を高める取組への支援

### (4)企業が求める人材の確保支援

女性・若者など一人ひとりの能力に応じた多様な職業能力開発を進めるとともに、企業が求める人材の育成等の取組を強化します。

- ・ ものづくり産業等やそれらの基盤となる研究開発を担う人材、医療・福祉・介護分野の人材確保支援
- ・ 若者、女性、高齢者、障がい者、外国人等のあらゆる人が持てる能力を最大限に発揮することを可能とする**ダイバーシティ経営導入の促進**

#### (5) 地域産業の振興と雇用の確保

「いわて県民計画(2019~2028)」の着実な推進による地域産業の振興と長期・安定的な雇用を確保します。

・ 令和3年度当初予算事業の実施による「いわて県民計画(2019~2028)」の着実な推進

## || 取組内容

## 1 県内就業の促進

## (1) 県内企業の認知度向上の促進

「いわてで働こう推進協議会」を中心に、「岩手ファースト」の意識改革に取り組みます。それに向け、県内産業・企業に関する情報発信を広く展開するとともに、 県内の児童、生徒、学生がそれぞれの成長段階に応じて、地域の産業や企業を知り、岩手で暮らす魅力を感じる取組を強化します。

- 〇 県内企業の認知度向上の促進
- 企業ガイダンスや若手社員等との交流

# (2) 就業支援等

いわてで働こう推進協議会を中心に、関係機関との連携による就職面接会の実施や就業支援員等の訪問活動等を通じて学生等の就職支援をするほか、ジョブカフェ等を拠点とした研修等の開催により、若者の就職活動を支援します。

- ジョブカフェ等を拠点とした就業支援サービスの提供
- 就業支援員等による職場定着・就職支援等の実施
- 関係機関と連携した就職面接会、研修会、就職ガイダンス等の開催
- 産学官が連携した大学生等の県内就業の促進
- 総合就業支援拠点(盛岡市、奥州市)における一体的・総合的な支援サービスの実施

# (3) 多様な人材の活躍支援

すべての人々が意欲・能力を活かして活躍できるよう女性や就職氷河期世代等への支援に取り組むとともに、生涯現役社会の実現に向けた高齢者の就労の促進を図ります。

また、令和3年3月から障がい者雇用の法定雇用率の更なる引上げが予定されており、障がい者一人ひとりの障がいなどに応じた多様な就労の場の確保、就労の支援に取り組みます。

#### ア 女性の活躍支援

- 〇 女性の活躍支援
- 県内企業の女性経営者や若手社員等の交流
- 女性の就業促進部会の開催

#### イ 就職氷河期世代への支援

- セミナーの開催等による支援
- ジョブカフェ等を拠点とした就業支援サービスの提供(再掲)

### ウ 高齢者の就業機会の確保・提供

○ 高齢者の就業機会の確保・提供

#### エ 障がい者雇用の促進

- 法定雇用率の引き上げを踏まえた障がい者の雇用拡大
- 〇 農福連携による障がい者の雇用拡大
- 水産加工業と障がい福祉サービス事業所とのマッチング支援
- 障がい者の実践的な職業訓練の機会の提供
- 障害者就業・生活支援センターを通じた就業等の支援
- 障がい者の雇用の場の確保についての要請活動

#### オ 困難を抱える者に対する就労支援

- (ア) 社会的自立の支援
- 困難を抱える青少年の社会的自立の支援
- ダブルケア等への支援
- 〇 生活困窮者の自立支援
- ひとり親家庭の自立支援
- (イ) 就業支援
  - ジョブカフェ等を拠点とした就業支援サービスの提供(再掲)
  - 就業支援員等による職場定着・就職支援等の実施(再掲)
  - 〇 特別支援学校生徒の就職機会の拡大

## (4) 移住定住、U・Iターンの促進

「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学等と連携した就職相談やインターンシップのほか、県内企業の情報発信等を通じた若者のU・Iターンに取り組みます。 また、移住希望者が岩手の魅力を知り、暮らしたくなるような訴求力の高い情報発信に取り組むほか、移住希望者の多様なニーズに対応するため、相談窓口の機能を強化するとともに、市町村や関係団体等と連携し、地域で移住者を受け入れるためのサポート体制の整備に取り組みます。

#### ア U・Iターンの促進

- インターンシップの促進
- U・Iターン就職希望者に対する求人情報の提供や職業紹介の実施
- 〇 U・Iターン支援の強化
- 学生等に対するU・Iターン就職の支援強化
- 「つながり」を活用したU・Iターン情報の提供

### イ 移住定住の促進

〇 移住定住の促進

## (5) 起業・創業の支援

企業や関係機関等と連携し、女性や若者等の起業・創業を支援します。

- 女性・若者への起業支援
- 創業、人材育成、事業承継の推進への支援
- 起業支援拠点「岩手イノベーションベース」による起業支援

## 2 雇用・労働環境の整備

## (1) 働き方改革の推進等

「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、長時間労働の是正や年次休暇取得促進等の働き方の改善に取り組み、魅力ある職場づくりを進めるほか「いわて働き方改革アワード」等を通じて、働き方改革の取組を広く普及・啓発し、人材の確保・定着につなげます。

- 〇 長時間労働の是正等
- 〇 テレワークの推進
- 働き方改革に向けた取組の推進についての要請活動
- 〇 健康経営の促進

## (2) 処遇改善の推進

無期転換ルール等の適正な運用をはじめ、正規雇用の拡大等の処遇改善の取組により雇用の質の向上を図り、人材の確保・定着につなげます。

○ 岩手県正社員転換・待遇改善本部への参画及び要請活動

## (3) 職場定着の促進

若者や女性等の職場定着の促進に向けた取組の支援により、県内労働力の確保を図ります。また、外国人労働者雇用実態調査を踏まえ、日本語学習支援等受入体制整備等を支援します。

〇 女性の活躍支援(再掲)

- 〇 長時間労働の是正等(再掲)
- ジョブカフェ等を拠点とした就業支援サービスの提供(再掲)
- 〇 職場定着支援
- 就業支援員等による職場定着·就職支援等の実施(再掲)
- 外国人労働者受入体制整備の支援

## 3 生産性の向上

# (1) 省力化·機械化等

県内企業における LoT、A Lなどの第4次産業革命技術を活用したイノベーションの推進による生産性の向上を支援します。

- 中小企業の設備投資への支援
- ものづくり産業の競争力強化及びスマート農業の推進
- 介護現場でのロボット導入支援
- 建設現場におけるICTの活用
- 〇 農業等における I C T技術の活用
- カイゼンの導入等
- 未来技術(A I I o T等) や経営革新等による産業振興

## (2) 高付加価値化

地域資源の磨き上げなど高付加価値化による県内企業の収益を高める取組を支援し、企業の魅力や雇用の質の向上につなげます。

- 次世代産業の創出への支援
- 次世代ものづくりラボの設置、共同研究によるモデル事例の提供
- ものづくり基盤技術の高付加価値化
- 〇 地域資源を活用した産業振興、人材育成
- 展示会出展、試作開発への支援

- 県北地域の生産性・収益性向上への支援
- 商工団体等が行う中小企業の経営改善等支援事業の推進
- 専門家による個店の魅力や売上の向上への支援
- 創業、人材育成、事業承継の推進への支援
- 特産品開発、6次産業化の取組への支援
- 人材の育成・確保や経営改善に取り組む県内建設企業への支援
- 被災企業等の経営力向上への支援

## 4 企業が求める人材の確保支援

# (1) 職業能力開発支援

雇用情勢や企業ニーズに対応した職業訓練等の就業支援を実施するほか、高度な技能を承継する技能者や将来の本県産業を担う人材を育成します。

#### ア職業訓練

〇 県立職業能力開発施設等による職業訓練の実施

### イ 技能レベルの向上

- 〇 技能検定試験の実施
- 外国人技能実習生への技能検定制度の適切な運用

# (2) 企業の人材確保支援

地域産業の高度化と持続的な発展を推進していくため、ものづくり産業や農林水産業、建設業をはじめ様々な産業や、それらの基盤となる研究開発を担う人材確保 の取組を支援します。

また、高齢化の進展等により増大する医療、福祉、介護需要に対応した人材の確保、定着、育成に取り組みます。

- 企業等の採用力強化・人材育成支援
- 新規学卒者の積極的な採用についての要請活動

- 女性の活躍支援(再掲)
- 県内企業の女性経営者や若手社員等の交流(再掲)
- 女性の就業促進部会の開催(再掲)
- 高齢者の就業機会の確保・提供(再掲)
- プロフェッショナル人材の確保
- 産学官連携による人材の育成
- 地域産業の国際化に貢献する人材の育成
- 医療人材の確保
- 福祉・介護人材の確保
- 〇 獣医師の確保
- 新規就農者の確保・育成
- 林業就業者の確保・育成
- 漁業者の確保・育成
- 〇 建設業の人材確保
- 水産加工業の人材確保

## (3) ダイバーシティ経営の促進

若者、女性、高齢者、障がい者、外国人等のあらゆる人が持てる能力を最大限に発揮することを可能とするダイバーシティ経営の導入を促します。

- ジョブカフェ等を拠点とした就業支援サービスの提供(再掲)
- 〇 女性の活躍支援(再掲)
- 高齢者の就業機会の確保・提供(再掲)
- 法定雇用率の引き上げを踏まえた障がい者の雇用拡大(再掲)
- 外国人労働者受入体制整備の支援(再掲)
- 外国人技能実習生への技能検定制度の適切な運用(再掲)

## 5 地域産業の振興と雇用の確保

## (1) 地域産業の振興

### 「いわて県民計画(2019~2028)」の着実な推進

〇 「令和3年度当初予算(案)のあらまし」より「仕事」抜粋

## (2) 長期・安定的な雇用の確保

産業振興施策や雇用対策基金を活用した事業などにより、長期・安定的な雇用の場を確保します。

### ア 産業振興施策による雇用創出・確保 【新規(常用)雇用: 1,868人】

被災地における産業復興などのほか、新事業創出や経営支援、企業誘致、農林水産業などの産業振興施策により、雇用を創出・確保します。 [主な内訳]

- 新事業創出・経営支援による雇用創出見込み【新規(常用)雇用:399人】
- 企業誘致による雇用創出見込み【新規(常用)雇用:365人】
- 農林水産業振興による新規農林水産業就業者数見込み【440人】
- 福祉施設整備による雇用創出見込み【新規(常用)雇用:4人】
- 産業集積等による雇用の拡大【新規(常用)雇用:660人】

## イ 「雇用対策基金」を活用した雇用確保 【新規(常用)雇用:53人】

将来的に被災地の雇用創出の中核となることが期待される事業所が、被災者を1年以上雇用する場合に、雇入れに係る費用に対する助成金を支給し、長期・安定的な雇用を促進します。

· 事業復興型雇用確保事業【新規(常用)雇用:53人】

雇用創出・確保の見込み(アナイ) 【新規(常用)雇用:1,921人】

#### ウ 安定的な雇用の確保の取組の促進

安定的な雇用の確保について、経済団体等に対して要請し、各地域においても関係機関と連携して企業への要請活動を行います。

• 安定的な雇用の確保についての要請活動

# 令和3年度のいわてで働こう推進協議会における取組について(案)

取組目標

新卒者等の県内

就職の促進

(地元に残ろう)

#### 令和3年度に特に注力する取組

- ① 新卒者等の地元ファースト、岩手ファーストといった意識改革の取組強 化
- ◇ 県内の高校・大学等における、県内企業、県内産業を知る取組の実施
- ◇ 高校及び大学の教員と県内企業の情報交換を通じた、連携の強化
- ◇ 県内の高等教育機関、産業界、県等が、地域課題の解決等に向けた 議論を行う岩手県高等教育機関地域連携プラットフォームと連携し、
- 大学生等の県内就職率向上のための必要な取組等について検討

#### ② 児童、生徒等へのそれぞれの成長段階に応じた県内産業・企業等の理解 促進

◇ 県内の小中学校及び中学校等への県内企業・県内産業等の情報発 信及び企業見学会、出前授業等の実施

#### ③ 女性の活躍推進

- ◇ 就職期の女性の県内就業及び地元定着の促進
- ◇ 医療・看護・福祉など女性の就業ニーズの高い職種・事業所等の情 報発信による県内企業とのマッチングの促進

#### ④ 就職氷河期世代の就業支援

◇ 個々の状況を踏まえた就業を支援及び企業に対するセミナー等の開催

#### ⑤ 学生等に対するU·Iターン就職支援策の強化

- ◇「岩手U·lターンクラブ」を通じた大学関係者及び保護者等への直接
- ◇ マッチングサイトを活用したU・Iターン希望者の登録促進、相談窓口間 の連携による個々の希望に沿ったきめ細かな情報提供等就職支援
- ◇ 訴求力の高い情報発信や岩手版ワーキングホリデーを通じ、岩手で 働き、暮らす魅力を一体的に発信
- ◇ 地方移住への関心が高まっている東京圏の若者がU・lターン就職に 伴い移住する際の経費に対する支援

#### ⑥ 移住者の受入れ体制の整備

- ◇ 県内市町村における移住コーディネーターの登録促進とコーディネー ターを通じたマッチングの実施
- ◎ 本県へのU・Iターン就職相談窓口の機能強化
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響により増加したテレワーク施設の情 報発信等を通じた移住・定住の促進

#### (地元に帰ろう)

移住定住、U·I

ターンの促進

#### ⑦ 産業人材の確保支援

- ◇ いわて産業人材奨学金返還支援制度の運用による、県内企業の高度人材
- ◇ U・ターンマッチングコーディネーターによる首都圏及び東北・北海道エリア理 工系大学と県内企業の連携強化
- ※ 下線を付した箇所が、R3年度に強化する取組。
- ※「◇IはR3.2開催「いわてで働こう推進協議会」で承認された取組方向に係るもの、「◎ は新型コロナウイルス 感染症拡大に伴う取組。

#### 具体的な実施内容・展開

- ◇ 大学等における企業紹介キャラバンの実施
- 高校生等と若手社員等の交流事業の実施
- 就業支援員等による高校生等の県内就職に向けた個別支援
- ◎ 県のホームページに開設した特設サイトに、県内企業の情報等の 就職活動に役立つ情報を集約・発信
- ◎ ジョブカフェいわてにおけるWEBカウンセリングの実施
- ◇ 岩手県高等教育機関地域連携プラットフォームとの連携

- ◎4月~ 就活支援特設サイトにおける情報発信
- ◇4月~ 就業支援員及び県内就業・キャリア教育コー ディネーターによる学校、企業等を訪問し、高校 生等の就職等の支援

実施スケジュール

- ◎4月~ WEBカウンセリングの実施
- ◇5月~ 大学等における企業紹介キャラバンの実施
- ◇5月~ 高校生等と若手社員等の交流事業、企業ガ イダンス等各地域で実施
- ◇11月 県内の産業・企業の理解促進イベントの開催 ◇随時 岩手県高等教育機関地域連携プラットフォー ムとの情報共有、取組検討

◇5月~ 実技講習会の実施、インターンシップへの支

◇4月~ 就業支援員及び県内就業・キャリア教育コー

◇5月~ 大学等における企業紹介キャラバンの実施

◇11月 県内の産業・企業の理解促進イベントの開催

◇ 月~ 女性活躍に関するセミナー等の開催

ディネーターによる学校、企業等を訪問し、高校

◇4月~ 工場見学、出前授業の周知・実施

牛等の就職等の支援

- ◇ 小中高生や保護者・教員を対象とした工場見学・出前授業の実
- ◇ 工業高校生を対象とした実技講習の実施、インターンシップへの
- ◇ 大学等における医療、福祉分野の企業紹介キャラバンの実施
- ◇ 高校生等と若手社員等の交流事業の実施 ◇ 県内就業・キャリア教育コーディネーターによる大学生等の県内
- 就職に向けた支援 ◇ 女性活躍に関するセミナー等の開催
- ◇ いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム(事務局:岩手 ◇4月~ いわて就職氷河期世代活躍支援プラット 労働局)における就業支援 フォームにおける就業支援
- ◇ 就職氷河期世代向けの求人開拓等、個々の状況を踏まえた就 業を支援
- ◇4月~ ジョブカフェいわてにおける就業支援(相談時
- 間の延長、職場見学会、企業向けセミナー、 e-ラーニング)
- ◇ 「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学等における企業説明会の開催 大学の就職担当者と本県企業との情報交換会の開催
- **県外大学生**を対象とした**オーダーメイド型企業見学会**の開催 ◇ 就職情報マッチングサイトの運用による就職希望者と企業のマッ
- チング支援
- ◇ 岩手県U・Iターンセンター等における職業紹介の実施
- ◇ 首都圏等の相談窓口と市町村との連携による情報提供及びU・I ターン就職相談対応
- ◇ ポータルサイトやSNSの活用や情報誌の発行など、効果的な情報 発信
- ◇ 「岩手版ワーキングホリデー」の実施
- ◇ 国の要件に基づく移住支援金の給付や、「いわて若者移住支援 金」の給付による移住に係る経費の支援
- ◇ 首都圏在住の大学生等と県内企業との交流事業の実施
- ◇ 移住イベントの開催

17

- ◇ 「岩手県移住コーディネーター」による地域情報の発信及び相談 対応
- ◇「いわてU・lターンサポートデスク」(ジョブカフェいわて内)の相談
- ◇ 移住定住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう」等を活用した、県 内のテレワーク環境の情報発信
- ◇ いわて産業人材奨学金返還支援制度の周知・広報活動の実施
- ◇ U・Iターンマッチングコーディネーターを通じた理工系学生への企 業情報の提供や企業見学会等の実施

- ◇随時「岩手U・lターンクラブ」大学等における企業説明 会の開催
- ◇随時 オーダーメイド型企業見学会の開催
- ◇随時 移住支援金の給付
- ◇4~3月 就職情報マッチングサイトの運用 ◇随時 ポータルサイトやSNSを活用した情報発信
- ◇10月 大学の就職担当者と本県企業との情報交換会
- ◇ 随時「岩手版ワーキングホリデー」の実施
- ◇4~3月 おかえりいわてツアー、ふるさと若者ミー ティング開催
- ◎6~3月 WEB版ふるさと若者ミーティング開催

◇7月 県主催移住大相談会の開催(オンライン)

- ◇4~3月 県主催移住イベント等の実施。イベントにお
- ける移住コーディネーターによる相談対応 ◇随時 首都圏及び県内の相談窓口の連携による移住、
- U·lターン相談対応 ◇随時 ポータルサイトやSNS等を活用したテレワーク施
- 設やテレワーク環境の情報発信
- ◇3月~10月奨学金返還支援制度認定企業の募集 5月~10月奨学金返還支援候補者の募集
- 12月 奨学金返還支援候補者の認定、支援 ◇4月 U·lターンマッチングコーディネータの委嘱

4月~ 大学訪問の実施

# 令和3年度のいわてで働こう推進協議会における取組について(案)

取組目標

令和3年度に特に注力する取組

具体的な実施内容・展開

実施スケジュール

総合的な情報 発信、県内企 業の認知度の 向上

(地元を知ろう)

⑧ 岩手ファンの拡大に向けたイベントと情報発信の連携によ るプロモーション展開

◇ 岩手で働き、暮らすことの魅力を訴求力の高い媒体での 情報発信や、イベントの開催により、多様で可能性あふれる キャリアモデルを提示し、若者等の「就職するなら岩手」の 意識を醸成

◇ 高校生、大学生、若手社員の参画によるワークショップ「未来のワ タシゴト創造プロジェクトIの実施

◇ 県内企業等との交流を通じて県内産業や企業を知り、岩手で暮 らす魅力を発見するイベントを開催【再掲】

◇ 県内就職に向けた取組強化や教育界と産業界の連携強化に向け た「いわてで働こうフォーラム」の開催

◇「いわてダ・ヴィンチ2021」に続く情報誌など、各種情報媒体によ る岩手の魅力発信

◇ ラインアプリ「いわてとつながろう」登録促進と継続的な就職関連 情報の発信

◇ ものづくり産業等で活躍する若手人財PR動画の授業等での活用

◇4月~3月 各種情報媒体による岩手の魅力発信

【再掲】 ◇11月「いわてで働こうフォーラム | 開催

◇1月~ 岩手の仕事と暮らしの魅力を発信する情報誌 の発行

◇7月~8月「未来のワタシゴト創造プロジェクト」実施

◇11月 「県内の産業・企業の理解促進イベント」の開催

◇随時 ラインアプリの登録促進と就職関連情報の発信 ◇12月~ 3月卒業予定の高校生及び保護者に対する

ラインアプリへの登録の呼びかけ実施 ◇11月~ 若手人財動画(女性等活躍編)等の作成

及び学校等への配布

◇随時 若手人財紹介動画の授業等での活用

起業・創業支

援の強化

推進

③ 若者·女性等の起業·創業の支援

◇ 若者や女性等の起業の促進に向け、起業意識の醸成のためのセ ミナーの開催や大学等と連携した実践的な起業家教育プログラムの

◇ 関係機関が連携して運営する起業支援拠点「岩手イノベーション ベース(IIB)」において、起業家同士の学び、ネットワーク形成の支援 や相談対応等の実施

◇ 大学生や社会人を対象に、座学、ビジネスプランの作成、起業家 等による講演・指導など、**実践的な起業家教育プログラム**の実施 ◇ 意欲や熟度の高いプログラム受講者に対しては、構想段階から起

業後まで継続的にきめ細かく支援 ◇ IIBと起業家教育プログラムとの交流会等の実施や配置するスタッ フによる相談対応

◇6月~ 起業家教育の実施 ◇4月~3月 IIBの運営、相談対応、起業家教育プログ ラムとの連携

働き方改革の

⑩ 働き方改革による企業の魅力アップと生産性の向上

◇ 県内企業等における働き方改革と生産性向上を両輪と した取組をより一層推進していくため、「いわて働き方改革 推進運動」を引き続き展開

◇ 働き方改革の取組を広く普及・啓発するため、これまで の「働き方改革アワード」受賞事例など、取組の優良事例を 紹介

◇ 本県の学生が就職先の選択に際し、労働時間や休暇の 条件を最も重視している状況にあり、人材確保につながる 企業の働き方改革の意識啓発・取組支援を行うため、主に 労働時間短縮、休暇取得促進をテーマとした企業向けセミ ナーを開催

◇ 働き方改革等の計画的・自律的な取組を支援するため、 テーマ別勉強会のほか、働き方改善計画の策定を要件と するインセンティブ型補助を引き続き実施

◇「いわて働き方改革推進運動」の展開、「いわて働き方改革AW ARD」受賞企業の優良事例の普及啓発を継続実施

◇「いわて働き方改革サポートデスク」を継続して設置し、企業の取 組支援研修の開催や、テーマ別勉強会の開催等により、働き方改 革の見える化を支援

◇ 企業における自律的・計画的な働き方改革の取組を支援するた め、働き方改善計画の策定を支援し、計画に基づいた取組の実施 に要する経費の補助を実施

◇ 働き方改革ワーキンググループにおいて、実効性のある取組の検

◇ 岩手労働局の「働き方改革支援センター」との連携により、企業 の課題等に応じた支援を実施

◇4月~「いわて働き方改革推進運動」の参加啓発

◇6月~「いわて働き方改革推進運動」及び「岩手働き 方改革AWARD2020」参加エンドノ一受付開始 ◇6月~ 企業向け研修等の実施(働き方改革の見える) 化支援)

◇7月~ 働き方改革ワーキンググループによる取組 方策の検討

◇7月~「いわて働き方改革等推進事業費補助金」の告知

◇11月 「いわて働き方AWARD受賞式」開催 ◎7~1月 「テレワーク導入推進事業費補助金」の 募集、交付決定

◇12~3月 成功モデル事例等の周知、普及啓発

処遇改善の 推進

職場定着の

促進

① 正規雇用の拡大

(就職氷河期世代を含め)非正規労働者の正社員転換・ 待遇改善の実現に向けた支援策の活用促進、正規雇用拡 大に向けた要請活動の実施

◇ 企業や経済団体等に対し、正規雇用の拡大に向けた要請活動 を実施

◇ 岩手県働き方改革推進支援センター(国)等の活用周知

◇ 国のキャリアアップ助成金の活用促進等による就職氷河期世代 も含めた処遇改善の推進

◇5月 安定的な雇用の確保等に関する要請 ◇4~3月 就業支援員等による助成金や支援機関の活 用周知

⑫ 早期離職の改善

◇ 各種セミナー、個別カウンセリングの実施、表彰等を通じ、 企業の人材育成体制の整備を支援

(3) 外国人労働者の定着支援

◇ 外国人労働者の受入に係る各種情報提供

◇ 外国人労働者の生活環境の整備への支援

(14) 雇用の維持・確保

◎ 中小・小規模事業者に対する雇用の維持への支援

◎ 解雇・雇止めとなった労働者に対する再就職支援

◇ 各種セミナーや個別カウンセリングの実施

就職氷河期世代向けセミナーやe-ラーニング等の実施

◇ 就業支援員等による職場定着に向けた面談等の実施 ◇ いわて働き方改革AWARD「人材確保・定着部門」の表彰

◇ 高校生と若手社員等の交流事業の実施【再掲】

◇ 外国人雇用に関する事業所向け説明会の開催 ◎ 雇用調整成金の拡充・延長を国に要望【随時】

◎ マッチングイベントの開催等、再就職支援施策の検討及び実施

◇4月~3月 各種セミナー・カウンセリング等の実施

◇4月~ 就業支援員等による企業訪問

◇5月~ 高校生と若手社員等の交流事業の実施 【再掲】

◇5月 安定的な雇用の確保等に関する要請【再掲】 ◇9月~ 外国人雇用に関する事業所向け説明会の

◇11月「いわて働き方改革AWARD授賞式」開催 【再掲】

18

資料No.4

## 広域振興局管内の情勢について

## ■県央

県央圏域では、今後、岩手ホテルアンドリゾートによる八幡平市での新たなホテルの開業や盛岡市での盛岡バスセンター開業など、大規模な観光・商業関連施設での新規雇用が期待される。また、令和2年4月に開所した「ヘルステック・イノベーション・ハブ」に令和2年度中に新たに2社(開所当初9社)が入居したほか、八幡平市に立地している積水メディカル及びシミックCMO西根が相次いで大型投資を表明するなど、医薬・医療関係でも活発な動きがみられている。このように、複数の産業において雇用機会の拡大が期待されており、安定的な人材の確保に努めていく。

## ■県南

トヨタ自動車東日本㈱岩手工場の小型車生産が好調であることから、関連企業3社が令和3年5月から6月に掛けて工場新増設に着手し、令和4年度までには操業開始する予定である。半導体・通信装置関係でも、旺盛な需要に応えて令和3年4月に工場増設に着手した企業があるほか、昨年末までに増設した工場での段階的な増員予定、工場増設に向けた敷地整備に着手といった動きが見られる。また、BPO関連企業が令和3年4月に新たな事業所を開設しており、令和6年にその本格操業が予定されている。

こういった状況から、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大が経済活動に与える影響を注視する必要は あるものの、当圏域では雇用機会の拡大が見込まれる。

## ■沿岸

令和3年3月末の新規高卒者の県内及び管内就職率は前年同月を上回り、県内就職率は77.9%(前年同月68.5%)、管内就職率は56.3%(前年同月47.3%)となった。これは、コロナ禍の影響もあるものの、小中高生を対象とした管内企業見学会や就業支援員によるきめ細やかな就職支援の取組等の成果が出始めているものと考えられる。

沿岸管内の令和3年3月末の有効求人倍率は0.97倍となっており、県全体(1.13倍)より0.16ポイント下回っている。

## ■県北

令和3年3月末現在、県北地域の新規求人数は前年同月と比べて減少。主要産業である製造業のうち、縫製業は大幅に減少。食料品製造業は求人増減の動きはあるものの全体的には同水準で推移している。有効求人倍率は2月で下げ止まりの状況だが、1倍台前後で推移している。令和3年3月新規高卒者の県内就職率は昨年度を若干上回る見込みだが、管内就職率は昨年度を下回り37%前後となる見込み。新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済の回復、若者の地元就業・定着率の向上が課題。